

京都市内遺跡立会調査概報

平成12年度

2001年3月

京 都 市 文 化 市 民 局

ごあいさつ

京都は、世界に誇る数多くの歴史遺産に恵まれた大都市であります。市内の埋蔵文化財包蔵地には、年代ごとに幾層にもわたり積み重ねられ、歴史の重みをもつ遺跡が数多く存在いたします。

このような埋蔵文化財は、我が国の歴史や文化の成り立ちを知ることができる国民共有の貴重な財産であり、将来にわたって保存していかなければなりません。

近年、埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等による開発行為は、これらの埋蔵文化財に少なからず影響を及ぼしており、先人が残した埋蔵文化財を引き継いだ私達は、その保存と開発との調整を適切に行い、これを後世に伝承していく責務があります。

さて、この度、平成12年度に本市が文化庁の国庫補助を得て実施した埋蔵文化財調査の結果をまとめた概要報告書を作成致しました。調査のうち、試掘調査は京都市埋蔵文化財調査センターが実施し、発掘調査及び立会調査は、財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託し実施したものであります。各調査の実施に当たりまして、御理解と御協力を賜りました市民の皆様をはじめ、御指導と御助言を賜りました関係機関の皆様に深く感謝申し上げますとともに、本報告書が京都の歴史を知るための一助として、お役に立てていただければ幸いに存じます。

平成13年3月

京都市文化市民局長
中野 代志男

例 言

- 1 本書は京都市文化市民局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助事業に伴う平成12年度の京都市内遺跡立会調査概要報告である。
- 2 本書の編集は、近藤章子、菅田薫、堀内寛昭、モンベティ恭代、吉本健吾が調整・作成実務を担当した。
- 3 各報告については文末に執筆者を記した。
- 4 写真撮影は村井伸也と幸明綾子が担当し、遺跡の一部は調査担当者が行った。
- 5 本書で用いた土壌色名は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修の「新版標準土色帖」に準じた。
- 6 本書に使用した遺構の略記号は、奈良国立文化財研究所の用例に従った。
- 7 個々の調査地での計測値は、宅地の場合は仮の「水準点」を±0mとし、道路の場合には現行道路路面を地表面（±0m）としている。なお、本書中で使用している方位および座標の数値は、平面直角座標系VIにより、標高はT.P.（東京湾平均海面高度）による。その際の測量基準点は、京都市遺跡発掘調査基準点を使用し、調査地における測量基準点の設置は宮原健吾が行った。
- 8 調査一覧表では各時代の「時代」は省略しており、調査日については簡略に記しているものもある。遺跡名は平安宮・京跡については、官衙・条坊を優先した。
- 9 なお、本書を作成するにあたって、木簡の判読は井上満郎氏・西山良平氏・吉野秋二氏に、また保存処理・修復方法は北野信彦氏に御教示いただいた。
- 10 本書で使用した地図は京都市長の承認を得て同市発行の都市計画基本図（縮尺：1/2,500）を複製して調整したものである。

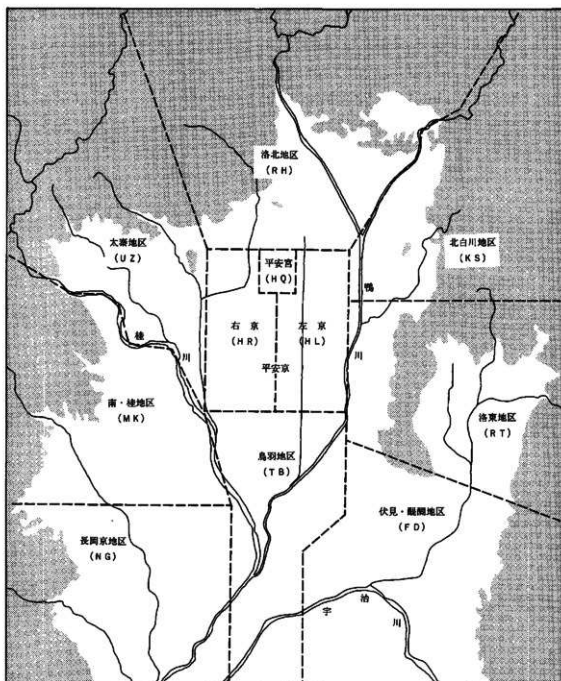
都市計画基本図は、縮尺を調整して以下のものを使用した。

平安宮・京跡 図版1～13 8,000分の1（船岡山、衣笠山、花園、聚楽廻、御所、山ノ内、壬生、三条大橋、西京極、島原、五条大橋、中河原、梅小路、京都駅）

その他の遺跡 図版14～28 10,000分の1（二軒茶屋、岩倉、西賀茂、幡枝、三宅八幡、鷹峯、植物園、松ヶ崎、修学院、宇多野、衣笠山、船岡山、相国寺、田中、大覚寺、鳴滝、花園、聚楽廻、御所、吉田、太秦、山ノ内、三条大橋、岡崎、五条大橋、清水寺、梅小路、京都駅、今熊野、山科、中山、川島、吉祥院、上鳥羽、勧進橋、稲荷山、勧修寺、行者ヶ森、大原野、石見、寺戸、久世、城南宮、竹田、大亀谷、醍醐、小塩、粟生、向日町、久我、下鳥羽、丹波橋、桃山、長岡、羽東師、横大路、中書島、木幡池、納所、淀）

各報告の「調査位置図」5,000分の1

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 図1 (御所) | 図9 (壬生) | 図15 (三条大橋) |
| 図20 (島原) | 図24 (五条大橋) | 図27 (五条大橋) |
| 図31 (山ノ内) | 図34 (山ノ内) | 図37 (梅小路) |
| 図41 (花園) | 図45 (修学院) | 図48 (勤修寺) |



地区設定概念図

本文目次

I 調査概要	1
II 平安京跡	3
1 平安京左京北辺四坊七町、一条四坊十六町 (00HL228)	3
2 平安京左京二条二坊十一町 (00HL73)	5
3 平安京左京二条四坊五町 (00HL93)	7
4 平安京左京六条一坊二町 (00HL146)	9
5 平安京左京六条三坊六町 (99HL331)	10
6 平安京左京七条四坊三町、東本願寺前古墓群 (99HL347)	11
7 平安京右京三条二坊十二町 (00HR58)	13
8 平安京右京四条三坊四町 (99HR416)	14
9 平安京右京九条一坊十四町、西寺跡 (99HR438)	15
III その他の遺跡	19
1 法金剛院境内 (99UZ369)	19
2 修学院月輪寺町遺跡 (00KS149)	22
3 中臣遺跡 (00RT136)	23
付章 伏見城跡出土金箔瓦の保存処理・修復	24
調査一覧表	28
報告書抄録	46

図 版 目 次

図版 1～28 調査位置図

- 図版 1 平安宮
- 図版 2 平安京左京北辺～三条 一・二坊
- 図版 3 平安京左京北辺～三条 三・四坊
- 図版 4 平安京左京 四～六条 一・二坊
- 図版 5 平安京左京 四～六条 三・四坊
- 図版 6 平安京左京 七～九条 一・二坊
- 図版 7 平安京左京 七～九条 三・四坊
- 図版 8 平安京右京北辺～三条 三・四坊
- 図版 9 平安京右京北辺～三条 一・二坊
- 図版10 平安京右京 四～六条 三・四坊
- 図版11 平安京右京 四～六条 一・二坊
- 図版12 平安京右京 七～九条 三・四坊
- 図版13 平安京右京 七～九条 一・二坊
- 図版14 1 北野廃寺・北野遺跡・北野右近馬場城跡 2 相国寺旧境内・本講寺の構え跡 3 平安京南辺隣接地 4 平安京北辺隣接地
- 図版15 1 岩倉忠在地遺跡 2 松ヶ崎廃寺 3 本山遺跡 4 半木町塚跡 5 植物園北遺跡
- 図版16 1 角社瓦窯跡 2 雲林院跡 3 清涼寺境内 4 御堂ヶ池古墳群 5 南野古墳群・御所ノ内遺跡
- 図版17 円乗寺跡・草木町遺跡・村ノ内町遺跡・法金剛院境内・常盤仲之町遺跡・上ノ段町遺跡・広隆寺旧境内・一ノ井遺跡・和泉式部町遺跡・森ヶ東瓦窯跡
- 図版18 1 北白川瓦窯跡・上終町遺跡・北白川廃寺 2 修学院月輪寺町遺跡 3 福西古墳群 4 法興院跡 5 櫻原廃寺
- 図版19 田中構え跡・京都大学構内弥生遺跡・京都大学西部構内遺跡・吉田山遺跡・吉田神社旧境内・京都大学総合人間学部構内遺跡・白河街区跡・岡崎遺跡・白河南殿跡・得長寿院跡
- 図版20 六波羅政庁跡・法住寺殿跡・法性寺跡
- 図版21 法性寺跡・極楽寺跡・番神山古墳・深草坊町遺跡・深草寺跡・嘉祥寺跡・貞観寺跡・西飯食町遺跡
- 図版22 上鳥羽遺跡・鳥羽離宮跡・鳥羽遺跡・竹田城跡

図版23 1 山科本願寺 2 中臣遺跡・中臣十三塚 3 下鳥羽遺跡・芥川城跡 4 大宅遺跡・大宅廃寺 5 醍醐廃寺

図版24・25 伏見城跡・桃山古墳群

図版26 1 南春日町廃寺・八幡宮古墳群・灰方古墳群
2 長岡京跡・上里北ノ町遺跡

図版27 1 長岡京跡・中久世遺跡・大藪遺跡 2 長岡京跡 3 長岡京跡

図版28 長岡京跡・久我東町遺跡

図版29～32 写真

図版29 平安京右京九条一坊十四町、西寺跡 (99HR438)

図版30 法金剛院境内 (99UZ369)

図版31 平安京左京二条二坊十一町 (00HL73)

平安京左京六条三坊六町 (99HL331)

修学院月輪寺町遺跡 (00KS149)

図版32 伏見城跡出土金箔瓦

挿 図 目 次

00HL228	00HL347
図1 調査位置図……………3	図27 調査位置図……………11
図2 試掘6-1平面略図……………4	図28 遺構位置図……………11
図3 A断面略図……………4	図29 遺構断面図……………11
図4 B断面略図……………4	図30 東洞院大路路面……………12
図5 出土遺物実測図……………4	00HR58
図6 景石1・2……………4	図31 調査位置図……………13
図7 景石3……………4	図32 遺構位置図……………13
図8 石組溝……………4	図33 遺構断面図……………13
00HL73	99HR416
図9 調査位置図……………5	図34 調査位置図……………14
図10 遺構位置図……………5	図35 遺構位置図……………14
図11 冷泉小路北側溝……………5	図36 柱状断面図……………14
図12 遺構断面図……………6	99HR438
図13 凝灰岩……………6	図37 調査位置図……………15
図14 弥生土器拓影・断面図……………6	図38 遺構平面・断面図……………16
00HL93	図39 出土遺物実測図……………17
図15 調査位置図……………7	図40 軒瓦拓影・実測図……………18
図16 遺構位置図……………7	99UZ369
図17 遺構断面図……………7	図41 調査位置図……………19
図18 No.1地点万里小路西側溝……………8	図42 礎石……………19
図19 No.2地点竪穴住居……………8	図43 遺構平面図……………20
00HL146	図44 遺構断面図……………21
図20 調査位置図……………9	00KS149
図21 遺構位置図……………9	図45 調査位置図……………22
図22 坊城小路西側溝……………9	図46 柱状断面図……………22
図23 遺構断面図……………9	図47 縄文土器拓影・断面図……………22
99HL331	00RT136
図24 調査位置図……………10	図48 調査位置図……………23
図25 遺構位置図……………10	図49 遺構断面・位置図……………23
図26 井戸……………10	図50 No.1地点竪穴住居カマド……………23

表 目 次

表1 立会調査件数……………1	表3 パラロイドB72含浸金箔瓦重量変化……………26
表2 金箔瓦重量増減率……………24	表4 金箔瓦重量増加率……………27

I 調査概要

(財)京都市埋蔵文化財研究所では京都市文化市民局の委託を受けて、京都市内の遺跡を対象とした文化庁国庫補助事業による立会調査を実施している。本書では平成12年度概要報告として、2000年1月5日から3月31日までの平成11年度分と、同年4月1日から12月28日までの平成12年度分を合わせて報告する。調査件数は2000年1～3月期の平成11年度残り分が118件、4～12月期が270件であった。京都市内を便宜的に地区分けした調査件数は下表のとおりである。

地区	99年度1～3月	00年度4～12月	小計	地区	99年度1～3月	00年度4～12月	小計
平安宮(HQ)	17	53	70	南・桂地区(MK)	4	9	13
平安京左京(HL)	32	74	106	洛東地区(RT)	6	21	27
平安京右京(HR)	23	39	62	高羽地区(TB)	12	10	22
洛北地区(RH)	8	15	23	伏見・醍醐地区(FD)	7	18	25
太秦地区(UZ)	5	7	12	長岡京地区(NG)	1	10	11
北白川地区(KS)	3	14	17	計	118	270	388

表1 立会調査件数

本年度の傾向としては1～3月期分の件数が前年度と比較して15件も増加したにもかかわらず、4～12月期分が70件減少しており、全体で55件も減少している。特に平安京地区全体では60件の減少である。

以下各地区の概要を述べる（遺跡ごとの件数と表の各地区の件数の合計が合致しないのは重複する遺跡があるからである）。

平安宮(HQ) 宮域では概要報告を行うような成果は得られなかったが、縄文層(00HQ282)で平安時代前期の包含層、豊楽院東築地(00HQ147)で現代盛土層からであるが凝灰岩の破片を検出しており、いずれも隣接地の今後の調査に期待が持たれる成果である。

平安京左京(HL) 左京域では北辺四坊七町、一条四坊十六町(00HL228)、二条二坊十一町(00HL73)、二条四坊五町(00HL93)、六条一坊二町(00HL146)、六条三坊六町(99HL331)、七条四坊三町、東本願寺前古墓群(99HL347)の6件の概要を報告する。それ以外では、平安時代の遺構が六条四坊十一町(00HL25)で河原院の池状遺構を検出している。鎌倉時代は九条二坊十三町(00HL37)で南北溝を検出している。江戸時代は五条三坊十三町(00HL169)で寛永十四年(1637)の洛中絵図に描かれた因幡堂薬師の北側の濠を検出している。

平安京右京(HR) 右京域では三條二坊十二町(00HR58)、四條三坊四町(99HR416)、九條一坊十四町、西寺跡(99HR438)の3件の概要を報告する。それ以外では、弥生時代の遺構は五条二坊十二町(99HR449)で前期の壘・甕を含む流路状遺構を検出している。古墳時代は六条二坊十三町(99HR394)で北西から南東方向の溝、九條一坊六町(99HR353)で布留期の甕・高杯を含んだ南北溝を検出している。時期不明であるが六條一坊二町(00HR46)で西坊城小路東側溝の西肩、七條一坊十三町(00HR86)で西大宮大路東側溝を推定線上で検出している。

洛北地区(RH) 植物園北遺跡8件、本満寺の構え跡3件、相国寺旧境内と角社瓦窯跡が各2件、雲林院跡、北野遺跡、北野右近馬場城跡、本山遺跡、岩倉忠在地遺跡、半木町塚跡、松ヶ崎鹿寺で各1件の調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、植物園北遺跡(00RH119)で古墳時代の遺物包含層を検出している。雲林院跡(00RH190)では平安時代前期の遺物包含層を検出している。

太秦地区(UZ) 村ノ内遺跡・常盤仲之町遺跡、一ノ井遺跡・和泉式部町遺跡・森ヶ東瓦窯跡・広隆寺旧境内が各2件、清涼寺境内、南野古墳群、御堂ヶ池古墳群、草木町遺跡、上ノ段町遺跡、御所ノ内遺跡、円乗寺跡、法金剛院境内で各1件の調査を行った。法金剛院境内(99UZ369)の1件を概要報告する。他に、村ノ内遺跡(99UZ401)で平安時代末期から鎌倉時代にかけての落込・土壌を検出している。

北白川地区(KS) 白河街区跡・岡崎遺跡10件、北白川廃寺・上終町遺跡2件、修学院月輪寺町遺跡、北白川瓦窯跡、田中構え跡、京都大学構内弥生遺跡、京都大学総合人間学部構内遺跡、京都大学西部構内遺跡、吉田山遺跡・吉田神社旧境内で各1件の調査を行った。修学院月輪寺町遺跡(00KS149)の1件を概要報告する。

南・桂地区(MK) 中久世遺跡・大藪遺跡5件、福西古墳群と灰方古墳群が各2件、櫻原廃寺、上里北ノ町遺跡、八幡宮古墳群、南春日町廃寺で各1件の調査を行った。この地区では概要報告を行うような成果は得られなかった。

洛東地区(RT) 中臣遺跡・中臣十三塚18件、法住寺殿跡・六波羅政庁跡4件、法性寺跡が各2件、法興院跡、山科本願寺跡、大宅廃寺、大宅遺跡で各1件の調査を行った。中臣遺跡(00RT136)の1件を概要報告する。

鳥羽地区(TB) 鳥羽離宮跡・鳥羽遺跡・竹田城跡16件、上鳥羽遺跡、西飯食町遺跡が各2件、下鳥羽遺跡・芥川城跡、久我東町遺跡で各1件の調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、鳥羽離宮跡(00TB171)で平安時代後期の南北溝を検出している。

伏見・醍醐地区(FD) 伏見城跡・桃山古墳群18件、醍醐廃寺3件、深草寺跡、権楽寺跡・深草坊町遺跡・番神山古墳・貞観寺跡・嘉祥寺跡で各2件の調査を行った。この地区では概要報告を行うような成果は得られなかった。

長岡京地区(NG) 長岡京跡9件、長岡京跡隣接地と東土川遺跡で各1件の調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、左京四条四坊二町(00NG195)で弥生時代の遺物包含層を検出している。この地点は事前に京都市埋蔵文化財調査センターにより試掘調査が実施されており、同時代の整穴住居を確認している。

なお、付章として、1998年度市域立会調査によって採集した伏見城金箔瓦の保存、修復作業の概要を付した。

西寺、法金剛院境内の2件の調査に際しては、施主、工事関係者の方々に遺跡の重要性を理解していただき、調査に時間を与えて下さいました。最後になりますがお礼申し上げます。

(菅田 薫・吉本健吾)

II 平安京跡

1 平安京左京北辺四坊七町、一条四坊十六町 (00HL228)

調査経過 (図1)

京都和風迎賓施設のインフラ工事に先立って、京都御苑内の既存の埋設管を確認するための試掘調査が実施された。これに伴う立会調査である。試掘調査は8地点14箇所で行われ、そのうちの試掘1-2を除く13箇所で行った。試掘1-2は平安京を北に外れる隣接地である。試掘3は左京北辺四坊七町と八町間の正親町小路上にあたる。試掘4は左京北辺四坊七町内にあたる。試掘6と試掘8は、左京一条四坊十六町にあたる。試掘7は同町東の東京極大路上にあたる。調査は、2000年10月31日から11月13日にかけて実施した。

遺構・遺物 (図2～8)

試掘1-1では、現代盛土直下に江戸時代のゴミ穴の堆積を確認した。試掘2-3では、-0.85mで平安時代末期から鎌倉時代頃と思われる整地層を確認し、それより上に累積する室町時代以降の堆積を確認した。試掘4-1では、-0.84mで室町時代前期の包含層を確認し、それより上に累積する室町時代後期以降の堆積を確認した。試掘4-2では、-0.88mで平安時代後期の遺物包含層を確認し、それより上に累積する鎌倉時代以降の堆積を確認した。また、-0.7mで江戸時代公家町の二階丁通り西側溝と思われる石組を確認した(図8)。試掘6-1(図2)では-0.8mで池状の堆積を確認し、-0.9mで景石3基(図3・4・6・7)を検出した。池状堆積は層厚0.35m以上あり、中から平安時代の緑釉陶器、須恵器、木筒状の板材および室

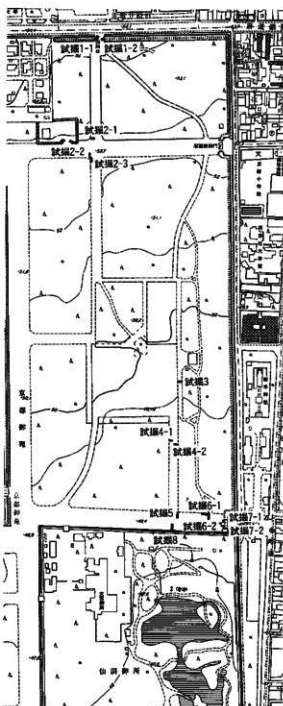


図1 調査位置図 (1:5,000)

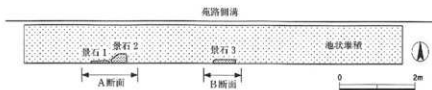


図2 試掘6-1平面略図(1:100)

南 壁 0m

現代盛土

現代盛土

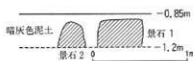


図3 A断面略図(1:40)

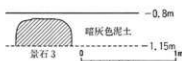


図4 B断面略図(1:40)

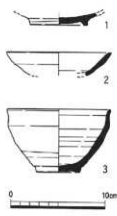


図5 出土遺物
実測図(1:4)

町時代後期から江戸時代前期の土師器皿(図5-1・2)が出土している。景石はそれぞれ長軸が0.35~0.6mある。試掘6-1では、-0.9mで仙洞御所北側東西街路の北側溝と思われる江戸時代の石組溝を検出した。試掘8-2では、-0.3mで江戸時代の焼土層、-0.5mで江戸時代の洪水砂礫層を確認した。上記以外の調査地点では、試掘坑全体に埋設管の攪乱がおよび、遺構や堆積層が破壊されていた。しかし、試掘8では埋設管理土中から桃山時代の天目茶碗(図5-3)が1点出土している。

なお、試掘4-2で検出した石組、試掘6-1で検出した景石3基、試掘6-1で検出した石組溝は、試掘関係者の協力によって破壊されることなく埋め戻されている。

まとめ

試掘6-1で検出した池状堆積と景石は、平安時代の庭園遺構と考える。この地点は左京一条四坊十六町内の北東部にあたるが、この町と南に隣接する十五町には藤原道長の「土御門殿(京極殿)」が所在していた。試掘6-1で検出した池状堆積と景石は、この土御門殿の園池跡と考える。周囲から室町時代後期から江戸時代にかけての土器類も出土していることから、土御門殿の園池はその後長く地上に姿をとどめていたものと解釈する。もちろん、この庭園遺構が江戸時代公家屋敷のものである可能性も残されている。(内田好昭・大槻明義・布川豊治)



図6 景石1・2(北西から)



図7 景石3(北から)



図8 石組溝(南から)

2 平安京左京二条二坊十一町 (00HL73)

調査経過 (図9)

中京区夷川通堀川東入西夷川町575番地のマンション建築工事に伴う調査である。当地は平安京左京二条二坊十一町の南東部分に位置し、平安時代後期から鎌倉時代にかけて貴族の邸宅があったと文献に記載されている地である。また調査地南端では、冷泉小路北側溝が推定地にあたる。

調査は2000年6月12日から27日まで行い、弥生時代中期の包含層と平安時代の冷泉小路北側溝・落込を検出した。

遺構・遺物 (図版31、図10～14)

基本層序は、調査地北西部のNo1地点では、現代盛土層が-0.33mまで、-0.33mで鎌倉時代の包含層、-0.72mで平安時代後期の包含層、-0.85m以下で褐色砂泥の地山となる。

No2地点の-0.62mで幅0.9m以上、深さ0.7mの落込の南肩を検出した。埋土は3層に分層でき、上層から平安時代中期の土師器皿、白磁、緑釉陶器が出土している。-1.17mでは幅1.35m、深さ0.36mの落込を検出した。埋土から平安時代の土師器皿が出土している。この落込から南へ1.4mの地点では、ほぼ同じ高さで幅0.35m以上、深さ0.19mの落込の北肩を検出した。埋土からは平安時代中期の土師器皿、白磁が出土している。この地点は冷泉小路の北側溝の推定地にあたり、落込は溝の北肩と考えられる。

No3地点では、-1.24mで平安時代後期の包含層を検出している。この層からは火を受け黒く焦げ面のある凝灰岩 (図13) が出土している。

No4地点では、-1.07mで厚さ0.63m以上の湿地状の黒褐色泥土層を検出した。この層からは弥生時代中期の壺 (図版31、図14) が出土している。

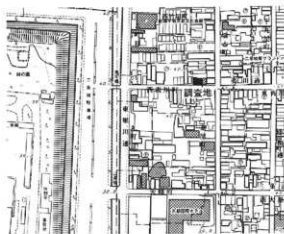


図9 調査位置図 (1:5,000)

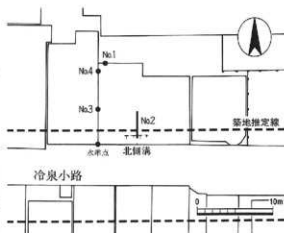


図10 遺構位置図 (1:500)



図11 冷泉小路北側溝 (西から)

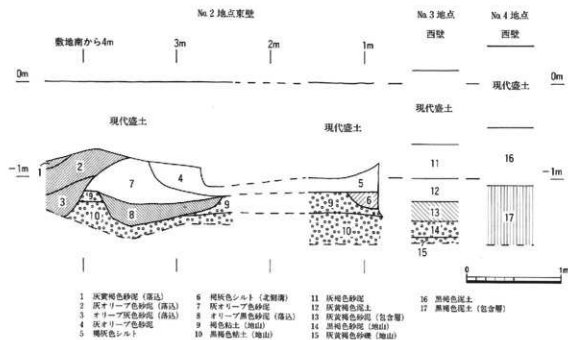


図12 遺構断面図 (1:40)

まとめ

No. 2 地点の落込は、冷泉小路北側溝の推定線に位置することから冷泉小路北側溝の北肩と考えられる。1.4m北にある落込は築地内溝が想定できるが断定はできない。

『本朝世紀』によると康治元年(1142)十一月廿八日条「今夜、堀川東大炊御門南丹波守公信朝臣宅焼亡。」、仁平二年(1152)十一月五日条「戊戌。有焼亡。火起自冷泉北堀川小屋。」とあり、平安時代後期に火災が少なくとも2度発生した記録がある。No. 3 地点で検出した包含層はこの時期と考えられ、火を受けた凝灰岩はこの2度の火災に関連する遺物と考えられる。

(吉本健吾)



図13 凝灰岩

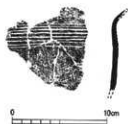


図14 弥生土器拓影・断面図 (1:4)

3 平安京左京二条四坊五町 (00HL93)

調査経過 (図15)

中央区柳馬場通二条上る六丁目274番地のマンション建築工事に伴う調査である。当地は平安京左京二条四坊五町の東側に位置し、調査地東端では万里小路西側溝が推定地にあたる。

調査は2000年6月22日から7月4日まで行い、弥生時代の竪穴住居と考えられる落込と万里小路西側溝を検出した。

遺構・遺物 (図16~19)

No 1 地点では、-1.35mまで現代盛土層が堆積し、-1.35mで時期不明の包含層、-1.5mで時期不明の土師器を含む整地層、-2.0m以下でオリブ褐色微砂の地山となる。遺構は-1.5mの整地層を切って落込とピットを2基検出した。落込は幅0.3m以上、深さ0.4mで西屑を検出した。埋土は泥土で、平安時代と考えられる平瓦が出土している。この落込は推定の万里小路西側溝にあたる。ピット2基は、落込の西側で検出したが、遺物は出土していない。

No 2 地点では、-1.47mまで工事により削平され、-1.47mで平安時代後期の包含層、-1.81



図15 調査位置図 (1 : 5,000)

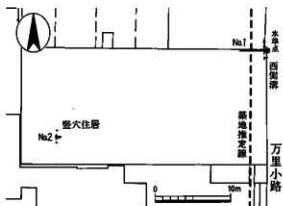


図16 遺構位置図 (1 : 500)

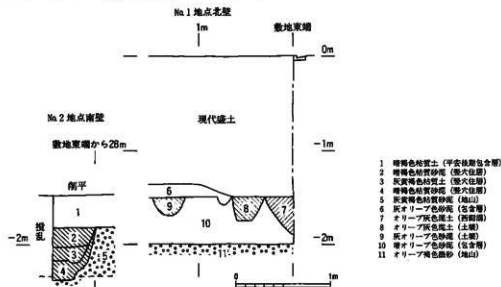


図17 遺構断面図 (1 : 40)

- 1 暗褐色粘質土 (平安後層包含層)
- 2 暗褐色粘質砂土 (竪穴住居)
- 3 灰黄褐色粘質土 (竪穴住居)
- 4 暗褐色粘質砂土 (竪穴住居)
- 5 灰黄褐色粘質砂土 (地山)
- 6 灰オリーブ色砂土 (包含層)
- 7 オリーブ灰色泥土 (西側溝)
- 8 オリーブ灰色泥土 (土層)
- 9 灰オリーブ色砂土 (土層)
- 10 暗オリーブ色砂土 (包含層)
- 11 オリーブ褐色微砂 (地山)

m以下が灰黄褐色砂泥の地山である。弥生時代の竪穴住居と考えられる落込は-1.81mの地山を切って北肩を検出した。埋土は3層で、中層と下層の間に幅0.16m、深さ0.04mの壁溝を確認した。下層は床を形成した入れ土である。遺物は弥生時代後期の壺がいずれも中層から出土している。

ま と め

No 1 地点の落込は、万里小路西側溝の推定線に位置することから万里小路西側溝の西肩と考えられる。時代に関しては出土遺物が平安時代の平瓦1点のみであるので断定はできない。ピット2基は、築地部分に位置し、側溝と同時期の遺構と想定でき、側溝の護岸および築地に関連する遺構と考えられる。

No 2 地点の竪穴住居は、この付近での弥生時代の遺構・遺物の出土例が無く初例となる。ここより南西方向には、烏丸三条を中心に広がる弥生から古墳時代の烏丸御池遺跡があるが、その範囲がさらに北へ広がるものと考えられる。

(吉本健吾)



図18 No 1 地点万里小路西側溝 (南から)



図19 No 2 地点竪穴住居 (北から)

5 平安京左京六条三坊六町 (99HL331)

調査経過 (図24)

下京区楊梅通新町東入上柳町225-5番地他のマンション建築工事に伴う調査である。当地は平安京左京六条三坊六町に位置し、平安時代中期には、北東部の四分の一町に慶滋保胤の邸宅「池亭」があったとされている。当地はその南西部にあたる。

調査は1999年12月10日から2000年2月15日まで行い、江戸時代の井戸と湿地状堆積を検出した。湿地状堆積からは墨書された曲物の蓋が出土している。

遺構・遺物 (図版31、図25・26)

-1.97mまで削平を受けており、遺構はこの高さで検出した。No.1地点では幅0.6m、深さ0.9mの井戸を検出した。井筒は底を抜き逆にした桶を積み上げたもので三段分を確認した。江戸時代の土師器皿、土師質陶器、磁器、鉄製品が出土している。No.2地点では厚さ0.4mの黒色泥土の湿地状堆積層を検出した。この層からは江戸時代前期の染付碗・鉢、施釉陶器碗(唐

津)、木製品が出土している。木製品には墨書された曲物の蓋(図版31)がある。7分の1程度の破片で、長さ10.9cm、幅2.9cm、厚さ0.38cmで復元径は約14.0cmである。平面端部には幅0.3cmの面取りが施されている。墨書は表裏両面に有り、判読は以下のとおりである。

- ・「佐直明」
- ・「□□□」

文字の読める面は人名であろうか。片面は文字の一部が残存しており文字数が確認できただけである。

ま と め

今回の調査では、江戸時代の井戸と湿地状堆積を検出した。平安時代に「池亭」のあったこの地に江戸時代にも湿地状堆積が存在していたことは、池状の堆積が継続していたことを想像させる。

(吉本健吾)

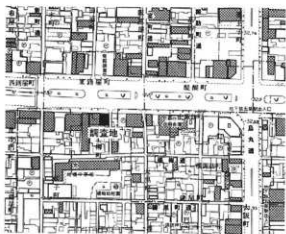


図24 調査位置図 (1 : 5,000)

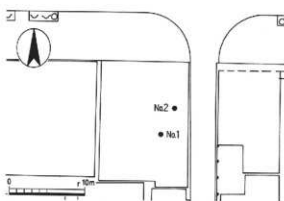


図25 遺構位置図 (1 : 500)



図26 井戸(北から)

6 平安京左京七条四坊三町、東本願寺前古墓群 (99HL347)

調査経過 (図27)

下京区正面通東洞院東入廿人講町31番地の事務所兼倉庫建築工事に伴う調査である。当地は平安京左京七条四坊三町に隣接する東洞院大路に位置し、また中世の東本願寺前古墓群の東端にあたる。

調査は2000年1月7日から1月14日まで行い、平安時代後期から室町時代にかけての土壌・落込、それ以前の東洞院大路の路面を検出した。

遺構・遺物 (図28~30)

路面検出地点では、-0.55mで幅0.55m・深さ0.54mの室町時代の土壌、幅0.85m以上・深さ0.45mの落込、-0.8~1.18mで中世の包含層3層、-1.1mで幅0.3m以上・深さ0.3mの平安時代後期の落込、-1.16mで路面を検出した。この路面は厚さ0.13~0.15mで、粗砂礫に微砂を含んだ非常に固く締まった層で、この調査地全域に広がっているのを確認した。

路面からは遺物の出土はみられなかったが、平安時代後期の落込が切り込むことから、それ以前の時期の東洞院大路の路面であると考えられる。

遺物は、室町時代の土壌・落込からは、土師

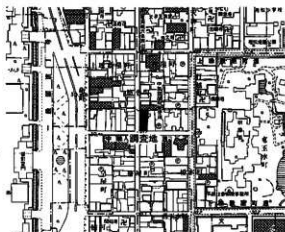


図27 調査位置図 (1 : 5,000)

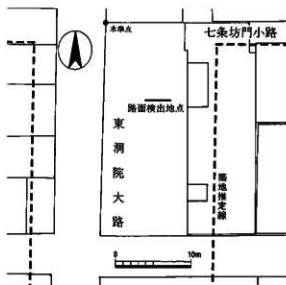


図28 遺構位置図 (1 : 500)

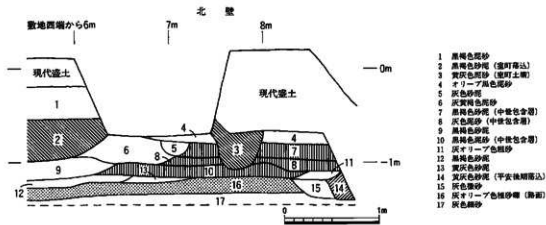


図29 遺構断面図 (1 : 40)

器皿、中世の包含層からは土師器皿、陶器甕、平安時代後期の包含層からは土師器皿がいずれも少量出土した。

ま と め

今回の調査では平安時代後期から室町時代にかけての土壌・落込および包含層と平安時代後期およびそれ以前と考えられる東洞院大路の路面を検出した。室町時代の土壌・落込に関しては、東本願寺前古墓群との関連が考えられるが、それを明確にする遺物は出土しなかった。

調査では路面から遺物が出土する例は稀であり、ほとんどの路面の時期を特定することができないているが、今回検出した東洞院大路の路面は平安時代後期、もしくはそれ以前の時期であると考えられる。

(吉本健吾)



図30 東洞院大路路面 (南から)

7 平安京右京三条二坊十二町 (00HR58)

調査経過 (図31)

中京区西ノ京新建町1番地の保育所建築工事に伴う調査である。当地は平安京右京三条二坊十二町の南端に位置し、調査地南半が姉小路にあたる。また西ノ京遺跡の南西部にも位置する。

調査は2000年6月1日から8日まで行い、姉小路北側溝を検出した。

遺構・遺物 (図32・33)

溝検出地点では、-1.2mまで現代盛土層が堆積し、-1.32mで湿地状を呈する平安時代中期の包含層が堆積し、この層は調査地全域に広がっている。-1.6m以下で灰色粘土の地山となる。遺構は地山を切って東西方向の溝とみられる落込と、路面とみられる細砂層を検出した。溝は幅1.1m、深さ0.23mで、断面の形状は側面が丸みを持ち、底部は平坦である。埋土は暗オリーブ灰色粘土で上層と変化がない。出土遺物には平安時代中期の土師器皿、須恵器碗、緑釉陶器皿、灰釉陶器壺が出土している。路面とみられる層は、溝の両側-1.64mで厚さ0.05m、細砂で非常に固く締まっている。路面からの遺物の出土はみられなかったが、上層に平安時代中期の包含層があり、それ以前の時期のものと考えられる。

まとめ

東西溝は、姉小路北側溝の推定線に位置することから平安時代中期の姉小路北側溝と考えられる。溝の南側で検出した路面は、平安時代中期以前の姉小路の路面である。上層の湿地状を呈する平安時代中期の包含層は調査地全域で確認しており、平安時代中期以降のある時期にこの地域が洪水等で水没していたことを想定することができる。

(吉本健吾)

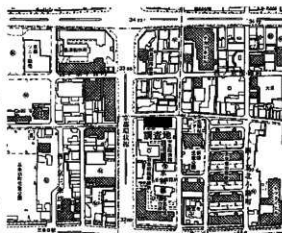


図31 調査位置図 (1:5,000)

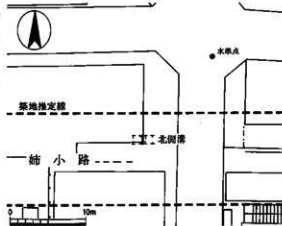


図32 遺構位置図 (1:500)

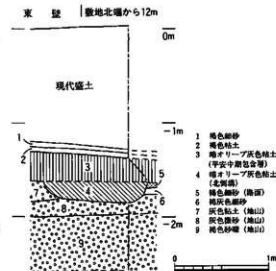


図33 遺構断面図 (1:40)

8 平安京右京四條三坊四町 (99HR416)

調査経過 (図34)

右京区西院巽町30-1番地の事務所建築工事に伴う調査である。当地は平安京右京四條三坊四町の南西角に位置し、調査地南半が四條大路にあたる。

調査は2000年2月23日から29日まで行い、路面10層、平安時代前・後期の包含層を検出した。

遺構・遺物 (図35・36)

調査地南西部のNo.1地点では、-0.13mまで現代盛土層、-0.13mで近現代の路面とみられる層を7層確認した。-0.9mで江戸時代の包含層を3層確認している。-1.65mで時期不明の路面を3層検出している。

調査地東端のNo.2地点では、-0.76mまで現代盛土層、-0.96mで江戸時代の包含層、-1.26mで平安時代後期の包含層、-1.36mで平安時代前期の包含層を検出し、-1.55m以下でぶい黄色砂泥の地山を確認した。

まとめ

No.1地点の下層の路面は、遺物が出土せず時期の特定はできないが、No.2地点で検出した平安時代の包含層の検出レベルからみて、同時代の四條大路の路面の可能性も考えられる。

(吉本健吾)

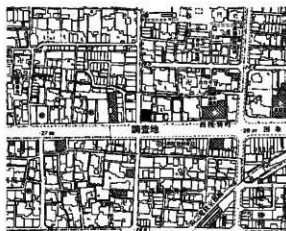
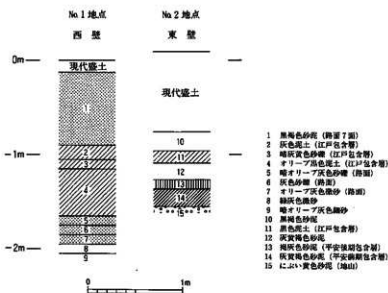


図34 調査位置図 (1 : 5,000)

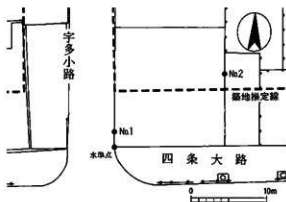


図35 遺構位置図 (1 : 500)

図36 柱状断面図 (1 : 40)

9 平安京右京九条一坊十四町、西寺跡 (99HR438)

調査経過 (図37)

調査は、南区唐橋西寺町34番地の倉庫建設工事に伴うものである。当地は平安京右京九条一坊十四町に位置し、西寺の寺域にあたる。立金調査を行った結果、 -0.3m で、雨落溝状の瓦列を発見した。ここは西小子房の北側に推定される。さらに遺構の実態を明らかにするため、緊急調査をする事にした。2000年3月15日から24日まで調査を行い、平安時代の遺構と遺物が良好な状態で出土した。

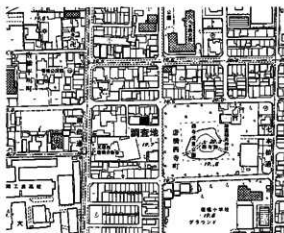


図37 調査位置図 (1 : 5,000)

遺構 (図版29、図38)

主な遺構について、以下に概略する。

SD1・2 幅30cmの平瓦を底にした東西溝で、西から東に向かって傾斜している (SD1)。さらに同様の溝が、L字形に南へ折れ曲がり、SX7によって削平されている (SD2)。その構造は、底に平瓦を凹面を上にして並べ、両脇には平瓦を積み上げて堤のように築いていた。

SE3 南北2.5mの方形の井戸と思われる。工事の関係上、一部分を断割りによって観察するとどめた。上層に遺物が集中しており、10世紀前半の遺物が多量に出土した。

SK4 浅い土壌で、遺物は少なく、時期を限定する事ができなかった。

SD5・6 並行する東西溝を2条検出したが、西側は現代擾乱により削平され、規模は把握できなかった。

SX7 不整形な平面形の土壌で、完形の平瓦を多量に含んでいる。土器は少量であるが、10世紀半ばと考えられる。

その他、ピットを数基検出しているが、建物としての並びは確認できなかった。なお、ピットからは凝灰岩の破片が出土しているものもある。

遺物 (図版29、図39・40)

SD1・2 (図39-1) 土師器の出土は少量であるが、皿1点を図示した。平瓦は完形に近い物が多く出土している。瓦の取り上げは、西から順にブロックとしてまとめ、出土位置が復元できるようにした。瓦は一枚造りで、凸面には縄目の叩きが全面に施されていた。

SE3 (図39-2~37、40-45) 土師器杯・皿・椀・甕、須恵器杯・鉢、黒色土器杯、緑釉陶器椀・皿、その他に皇朝十二銭の「貞観永寶」、「承和昌寶」、釘隠し等があった。土師器はe手法が主体で皿が多い。須恵器は鉢が主体で量そのものは少なかった。緑釉陶器は京都産のものが多く、削り出し高台が主体で、内面にはミガキがみられる。また軒丸瓦が1点出土している。

SX7 (図39-38~44、40-46) 瓦が主に投棄されていたもので、完形品もみられた。また軒

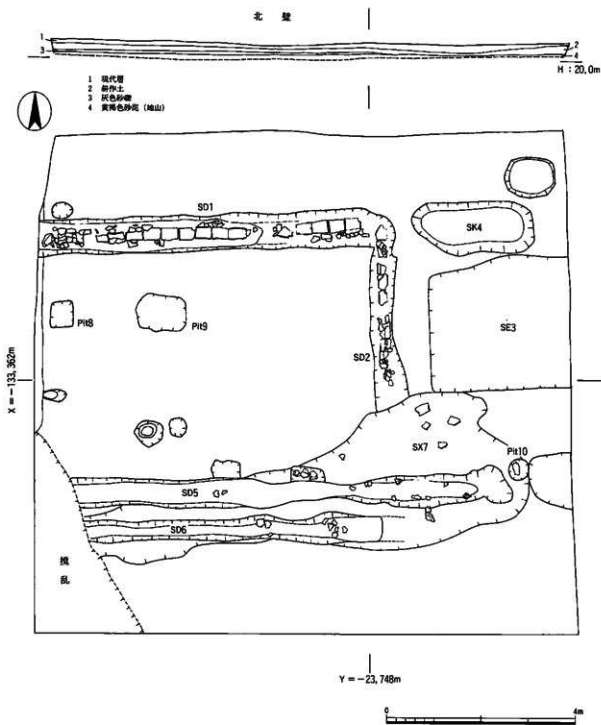


図38 遺構平面・断面図 (1 : 80)

平瓦が1点出土している。土器は非常に少なかったが、土師器皿、黑色土器B類の椀、灰釉陶器椀などが出土しており、10世紀中葉を示している。灰釉陶器椀は、内面は磨滅し朱が付着しており、朱を溶くものとして転用されたのであろうか。

ま と め

今回の調査では、西小子房の北側に推定される部分を調査したが、明確に西小子房に関連する

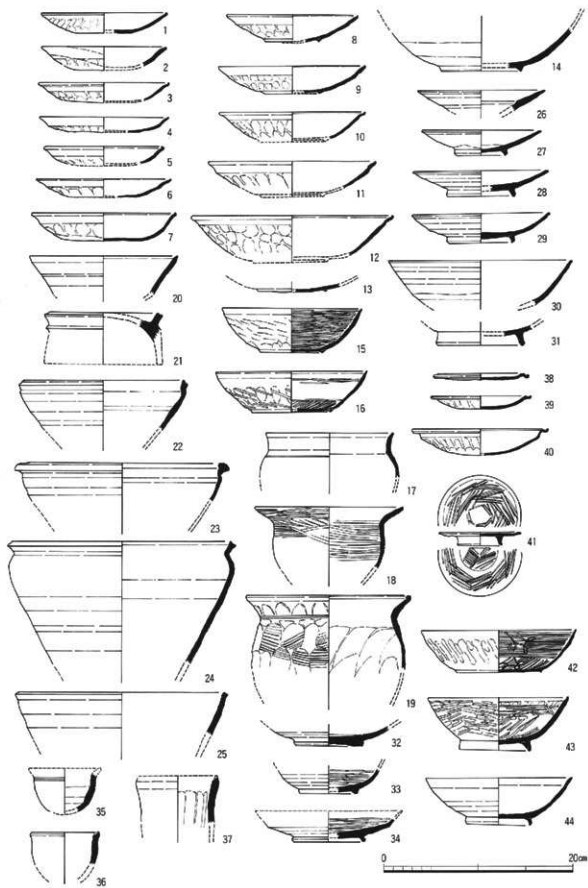


图39 出土遗物实测图 (1:4)

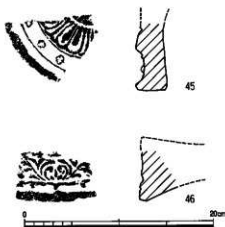


図40 軒瓦拓影・実測図 (1:4)

遺構は検出できなかった。SD1・2が雨落溝と考えるならば、西小子房の北東角を検出したことになるが、既往の成果による推定復元された西小子房より南に位置することになる。推定どおりであれば、SD1は暗渠と考えられる。

なお、1973年の東小子房の発掘調査でも建物の東側に溝を確認したのみで、西側には溝もなく、瓦列の雨落溝は検出されていない。また溝の掘形から凝灰岩の細片が出土しているのは、今回、ビットから出土していることと類似している。
(吉村正観)

註 浪貝毅・玉村登志夫「西寺跡発掘調査概要」『史跡西寺跡・鳥羽離宮跡 京都市埋蔵文化財年次報告 1973-II』京都市文化観光局文化財保護課 1975年

III その他の遺跡

1 法金剛院境内 (99UZ369)

調査経過 (図41)

調査は、右京区花園扇野町34番地での事務所増築工事に伴うものである。当地は法金剛院の旧境内にあたり、これまで当調査地の北側にあたる新丸太町通やJR花園駅の発掘調査で、法金剛院の庭園や建物の遺構を検出している。

法金剛院は大治四年(1129)九月、鳥羽上皇の中宮待賢院院によって建立が始められた。それ以前の平安時代前期には右大臣清原夏野の山荘があり、後に法金剛院の前身とされる天安寺が造営されている。

調査は、2000年1月21日から28日まで行われ、平安時代後期の遺物を含む建物や築山の地業を検出した。

遺構・遺物 (図版30、図42~44)

地業1 建物地業は調査地のほぼ全域にわたって検出された。地業上面で、地業を区画する石列を検出した。石列が明確でない部分もあるが、東西方向は南から約2.2m・3.3m・4.0m・2.8mの間隔で、南北方向は西から約2.2m・2.8mの間隔で検出した。区画は20~30cmの玉石を整然と積み上げ(図版30、図44)、礫を混入した砂泥層と細砂層の互層による版築で、掘込地業として形成されている。地業に伴う礎石または据え付け痕跡など、建物を復元できる遺構は削平され未確認である。

地業2 調査区の北端部分で確認し、地業1とは別の地業である。版築土は微砂層を含む砂泥層で、南から北へ高くなっていく地業である。

遺物は地業1の版築土下層から土師器皿が少量出土した。平安時代後期の土師器であるが、図化・復元できる資料は無い。

なお、敷地内で礎石(図42)を1石確認した。庭石に使われていたもので、元位置を失っているが、地業1に伴うとも推測される。



図41 調査位置図 (1 : 5,000)



図42 礎石

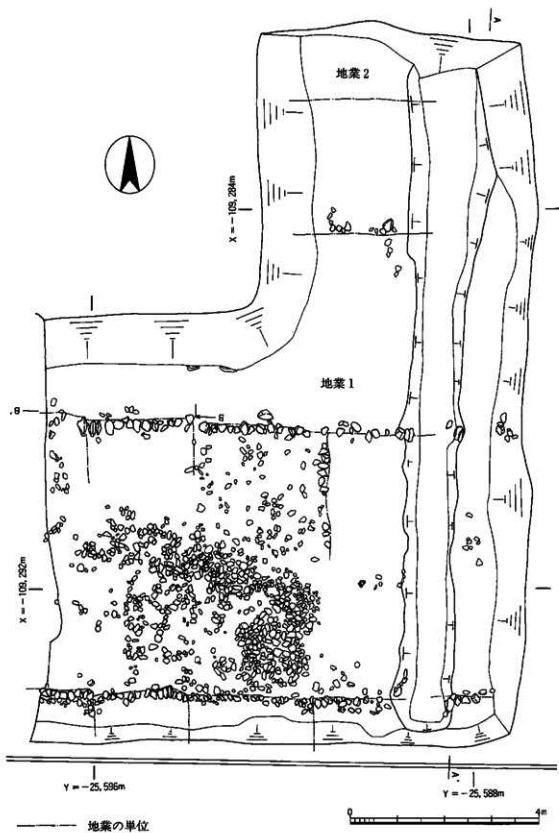


図43 遺構平面図 (1 : 80)

まとめ

今回の調査では、調査範囲が狭く、遺構の詳細を解明するには面積的に制約があったが、法金剛院の旧境内の復元を試みるうえで貴重な資料を得ることができた。

これまで、調査地北側の一段高くなっている墓地在法金剛院旧境内の築山に推定されていた。今回の調査で確認した地業2は、築山南西裾部の地業と思われる。地業1は、旧境内の建物位置から、承安元年(1171)に上西門院統子内親王によって供養された南御堂ではないかと考えられる。この南御堂は、築山の南裾に接していたことが明らかになった。

(吉村正親)

註1 杉山信三「法金剛院発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報(1969)』京都府教育委員会 1969年

小松武彦他「平安京右京一条四坊・法金剛院境内」『平成8年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1998年

註2 「百鍊抄」承安元年十月八日の条「巽角傍池畔建一立一間四面精舎。」

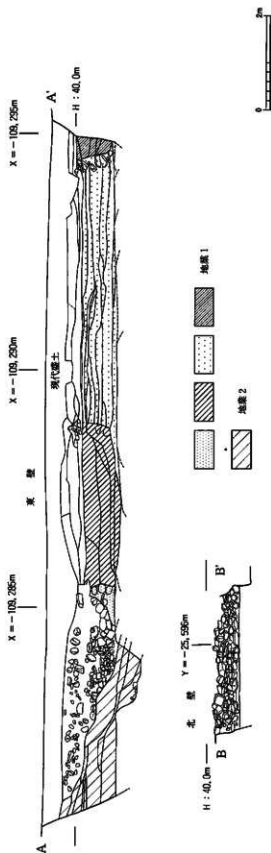


図44 遺構断面図(1:80)

2 修学院月輪寺町遺跡 (00KS149)

調査経過 (図45)

調査地は左京区修学院月輪寺町の音羽川により形成された扇状地にあり、標高は100mを越える。当地は遺跡外であったが、通商産業省工業技術院地質調査所の活断層調査中に縄文土器が発見され、遺構・遺物の有無の確認のため立会調査を行うこととなった。

調査は2000年9月20日に行い、縄文時代の包含層を検出した。

遺構・遺物 (図版31、図46・47)

掘削は標高117.14mから114.40mまでで、基本層序は標高117.14~116.94mに現代の耕作土層がみられる以外は、全体が白川砂の堆積である。直径約0.2~0.4m大の石を含む氾濫堆積層が2層みられ、縄文時代の包含層はその中間の細砂層で、縄文時代後期の土器片7点を採集している。包含層は厚さ0.1mと薄く、東から西へ傾斜し、長さ約2mに渡って確認された。南壁でも同じように氾濫堆積層の直下から縄文土器が2点出土している。

まとめ

今までこの付近で縄文時代の遺構・遺物が確認できなかったのは、今回の調査で明らかのように、包含層が氾濫により侵食を受け、さらにその堆積層が厚かったからと考えられる。

当地を挟む音羽川と一乗寺川の下流には、それぞれ縄文時代の沖殿町遺跡・一乗寺向畑町遺跡が存在しており、北白川扇状地に立地する縄文遺跡の中の「一乗寺・修学院」グループに新たな一遺跡を加えることができた。

(吉本健吾)



図45 調査位置図 (1 : 5,000)

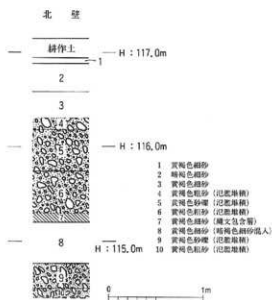


図46 柱状断面図 (1 : 40)

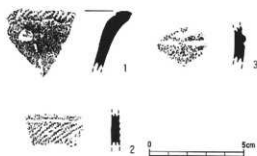


図47 縄文土器拓影・断面図 (1 : 2)

3 中臣遺跡 (00RT136)

調査経過 (図48)

山科区西野道の新十条通から勧修寺公園北側までの水道管布設工事に伴う調査である。当地は中臣遺跡の東部に位置し、調査地東側の発掘調査によって古墳時代の古墳・土墳墓、奈良時代から平安時代の竪穴住居・掘立柱建物などを検出している。

調査は2000年8月1日から11月21日まで行い、古墳時代の竪穴住居のカマドを検出した。

遺構・遺物 (図49・50)

調査地の地形は北から南に傾斜し、北と南では約6.5mの高低差がある。遺物包含層は現道路面の標高が35.6m以上の調査区北部で確認できた。

遺構はNo1地点の-0.93mで暗褐色砂泥の地山を切って幅0.26m、深さ0.06mの古墳時代の住居のカマドの基底部を検出した。カマドはにぶい赤褐色粘質土とにぶい黄褐色粘質土の2層から成り、両層から土師器の甕が出土している。上層の黒褐色砂泥層は住居の埋土であるか、削平後の埋土であるかは不明である。

またNo2地点では、-0.67mで奈良時代の土師器を含む層を検出している。

まとめ

No1地点で住居のカマドを検出したことにより、発掘調査で検出してきた集落に、新たに竪穴住居が1基増えることが確認できた。

(吉本健吾)

註 鈴木廣司他「中臣遺跡77次調査」平成10年度京都市埋蔵文化財概要(財)京都市埋蔵文化財研究所 2000年



図48 調査位置図 (1:5,000)

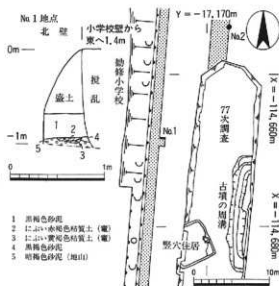


図49 遺構断面 (1:40)・位置図 (1:500)



図50 No1地点竪穴住居カマド (南から)

付章 伏見城跡出土金箔瓦の保存処理・修復

経過

1998年度、伏見城跡の立金調査で遺物整理箱に20箱もの多量の遺物が出土した。内容は瓦類が大部分でわずかに土器類があった。瓦の種類は、丸瓦・平瓦が多量に出土しているが、軒丸・軒平瓦や鬼瓦・飾り瓦などの道具瓦も出土している。それらには金箔瓦が多く見られた。その概要についてはすでに詳報している^{※1}。

その後、金箔瓦については展示する計画が持ち上がり、長期の公開展示に耐える保存処理と修復および一部金箔の剥落止め作業を実施することになった。

保存処理

出土金箔瓦

今回の金箔瓦は、瓦本体に漆類を接着剤として使用し、金箔を押圧貼付して製作されている。出土地点の土質は山土の粘土と粗砂の混在した埋立て土壌であり、金箔の残存状態は劣悪なものが多かった。金箔押しの遺存状態は、(1)完全に金箔・漆共に脱落している、(2)金箔のみ剥離脱落し漆が残存している、(3)金箔が残存しているの三態に分類される。

また、残存していても接着している部分が一部で、他の部分が剥離しているものもある。このような瓦は、洗浄中に金箔や漆が剥落することがあり、さらにその後の乾燥中に漆が収縮することにより、ひび割れたり、大きく反り返ったりして、剥離が進行することが多い。

従来の処理法

従来の金箔瓦の保存処理法は、水で希釈したアクリル系合成樹脂（バインダーNo17）溶液を瓦の表面に塗布し、金箔の剥落を防止していた^{※2}。しかしこの方法では金箔を上から抑えるのみで、瓦を含めた全体の保護・強化には欠けるものであった。

今回の処理法

(I) 樹脂強化作業

今回は瓦全体を、アセトンで溶解・希釈した保存処理に使用するアクリル系合成樹脂（パラロイドB72）溶液を用いて、漆と瓦の接着性を高めるとともに、瓦本体の保護強化をも目的とした。

この方法は当研究所では初めての試みでもあり、異なる溶液濃度による含浸後の仕上

溶液濃度(%)	含浸時間	処理前重量(g)	処理後重量(g)	重量増減(%)
5	12時間	395	400	1.3
5	2日	128.8	129.9	0.9
5	3日	14.5	14.7	1.4
5	4日	8.5	8.5	0
7.5	12時間	260	255	-1.9
7.5	2日	120.6	121.8	1
7.5	3日	16.7	16.9	1.2
7.5	4日	5.5	5.6	1.8
10	12時間	353	358	1.7
10	2日	56.3	57.1	1.4
10	3日	52.5	54	2.9
10	4日	68.1	70	2.8

表2 金箔瓦重量増減率

がりを検討するため、展示用瓦の処理を実行する前に同地点出土の他の金箔瓦で事前のテストを実施した。

テストは汎用のポリプロピレン製の容器を使用し、含浸期間が12時間から4日間のものまでの4種類、さらに5%・7.5%・10%の濃度の異なる溶液に、計12種類の瓦を浸漬し状態を見た(表2)。これは適正な処理濃度の設定(瓦の強化状況や表面色調の状態)を明確にすると同時に含浸期間の影響を調べるためである。取り上げ後は瓦が台に接着しないよう注意しつつアセトン臭が抜けるまで扇風機で乾燥させた。アセトンが揮発した後も樹脂臭が消失するまでしばらくかかった。この3種類の濃度では、概して濃度の高いものほど瓦の表面に樹脂の光沢が強く現れ、濡れた雰囲気があり、瓦によっては展示に耐えられないものとなってしまった。しかし含浸期間は外見にほとんど影響せず、重量増加もわずかであり、含浸は12時間で十分であると判断した。

通常、当研究所の鉄器の処理は、表面光沢を考慮して2.5%の濃度の溶液を使用していることを考え合わせて、展示の対象となる17点の金箔瓦は2.5%で保存処理を行うこととした。内6点については含浸前後の重量変化を見るため、1時間から数日の間隔で重量の測定をした(表3)。その結果、4日から5日でアセトンがほぼ揮発してしまうことがわかった。また重量の増加率については処理前の重量が少ないものほど率が大きい(表4)。これは重量に対する表面積の割合が反比例しているためと思われる。

テストに使用した瓦は軒丸・軒平瓦かその他の小さな破片であったが、展示用の瓦の中には鬼瓦の大きな破片もあり、含浸する容器として遺物整理箱も利用した。遺物整理箱専用の蓋は、アセトンに対して耐薬性が無く変形するので、もう1個の遺物整理箱を蓋の代用とした。しかしこの蓋は密閉性に欠けアセトンが揮発しやすい欠点があった。また多量のアセトンを使用するため換気などには、より十分に注意した。

処理後判明した問題点は、瓦の成形時に丁寧なミガキが施された部分や取り上げ後溶液が溜まりやすい箇所は、表面に光沢が出やすいことである。これは瓦表面に丁寧なミガキが施されて十分に焼き締められていると、その部分の粘土粒子間の微細な空隙が少なくなり溶液中の樹脂が浸透せず、表面に皮膜のように残ってしまうために起こると思われる。この場合の対処法としてアセトンで拭いて艶消しをした。

(II) 修復作業

瓦の中には破片同士で合致するものがあり、エポキシ系合成樹脂(アラルグイトスタンダード)で接合し修復した。

(III) 金箔の剥落止め作業

前記の金箔・漆の反り返ったような剝離は、溶液へ含浸しただけではその形状のままである。この部分の剥落止め作業には、通常出土品の場合はシアノアクリレート系接着剤を用いることが多いが、今回はこの方法を用いず、樹脂をアセトンで除去後、瓦と漆の間に溶かした膠を充填し上から押圧して接着する文化財修理の伝統的な方法を採用した。

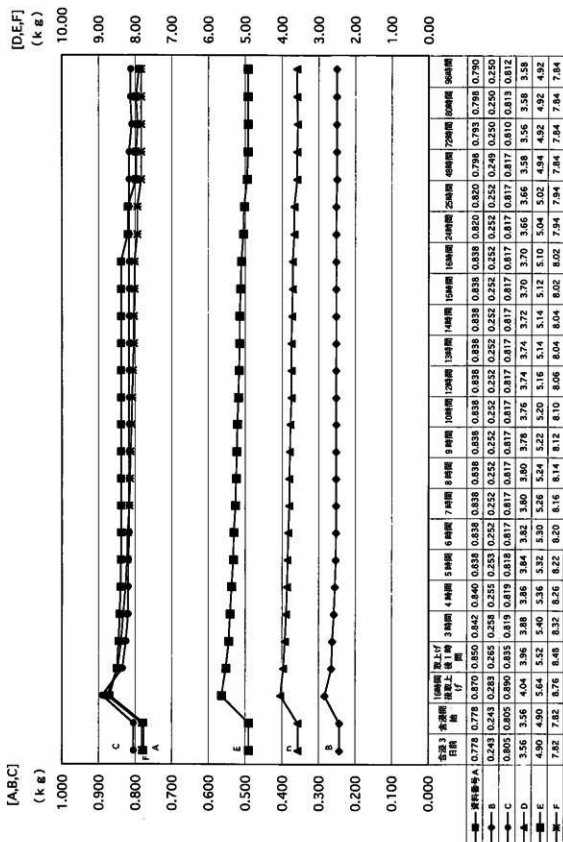


表3 パラロイドB72含浸金箔瓦重量変化

瓦番号	a 処理前重量 (kg)	b 取上げ直後重量 (kg)	c 処理後重量 (kg)	b/a 取上げ直後増加率 (%)	c/a 処理後増加率 (%)
A	0.778	0.87	0.79	11.8	1.5
B	0.243	0.283	0.25	16.5	2.9
C	0.805	0.89	0.812	10.6	0.9
D	3.56	4.04	3.58	13.5	0.6
E	4.9	5.64	4.92	15.1	0.4
F	7.82	8.76	7.84	12	0.3

表4 金箔瓦重量増加率

おわりに

今後も処理後の経過を見守っていく必要はあるが、ほぼ十分な処理・補修ができたものと考えられる。これ以外にも、付着土壌の除去法、洗浄中の金箔・漆の剥落防止法、乾燥中の剝離防止法が課題として残る。
(電子正彦)

註1 吉本健吾・電子正彦「伏見城跡」『京都市内遺跡立会調査概報 平成11年度』京都市文化市民局 2000年

註2 岡田文男「第3章 保存科学」『昭和57年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1984年

調査一覧表

I 1999年

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
石室北辺西首七町	西・大原野上里北ノ町	'99/3/18~ '00/2/21	-0.26mで時期不明の路面3~4、-0.8m以下、 黄褐色粘土の地山。	98NG403	26-2

II 2000年 1~3月期 (平成11年度)

平安宮 (HQ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
儀 竈	上・御前通一条下る東照町144-18	1/11~19	Na 1 : -0.7m、近世の落込(陶器、白磁、釘、 人骨頭部)。Na 4 : -0.26mで褐色砂泥の地山を 切って江戸の土取穴(染付焼、施軸陶器製)。 Na 5 : -0.3mで褐色砂泥の地山を切って時期不 明の落込。	HQ350	1
大 蔵	上・千本通一条下る西側西中筋町19-37	1/17~3/29	巡回時、工事終了。	HQ362	1
大 蔵	上・千本通一条下る西側西中筋町19-37	1/17~3/29	巡回時、工事終了。	HQ363	1
大 蔵	上・浄福寺通中立亮下る雙丸町169-1	3/3-6-8	-0.23mまで現代盛土。	HQ426	1
茶 圃	上・大宮通中立亮上る永屋町202-1	1/21~26	-0.25mまで現代盛土。	HQ368	1
茶 圃	上・中立亮通日暮東入新白木丸町462-9	3/8-9	-0.15mまで現代盛土。	HQ430	1
宴の松原	上・下立亮通七本松西入西東町388-2	3/21	-0.63mで褐色砂泥を放出。	HQ442	1
櫛部寮	上・下長者町通六軒町西入利生町294-170	2/10~18	-0.2m、江戸の包含層(土師器皿、陶器鉢)。	HQ395	1
綾殿寮	上・下長者町通浄福寺西入新御幸町35-2-3	1/5-6	-0.63m以下、明黄褐色砂泥の地山。	HQ345	1
右兵衛所	上・御前通下立亮上る天調屋町324-1の一部	3/13~15	-0.15mまで現代盛土。	HQ435	1
右兵衛所	上・御前通下立亮上る天調屋町324-1の一部	3/22~24	-0.05mまで現代盛土。	HQ446	1
右兵衛所	上・下立亮通七本松西入西東町367-4	3/22~28	+0.05m、近世の包含層(染付)。 -1.0m以下、 黄褐色砂泥の地山。	HQ447	1
典薬寮	中・西ノ京車坂町4	2/2~3/30	巡回時、工事終了。	HQ386	1
显楽院	中・殿楽廻西町188-82	2/14	-0.23mまで現代盛土。	HQ398	1
朝堂院	上・竹屋町通千本東入主税町1170、1171	3/1	-0.1m、時期不明の包含層(瓦)。	HQ424	1
宮内省	上・智恵光院通竹屋町上る主税町1239-1	3/31~4/4	-1.1m、時期不明の包含層(土師器皿)。 -1.47 mで明褐色砂泥の地山を切って中世以降の土壌 (土師器皿、瓦)。	HQ454	1
御井	中・西ノ京車坂町13-26	1/11~13	Na 1 : -0.25m以下、明黄褐色泥砂の地山。Na 3 : -0.28~-0.4m、時期不明の包含層2(土 器、瓦)。	HQ349	1

平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺二坊七町	上・小川通中立亮下る小川町190-2	1/13	-0.4mまで現代盛土。	HL360	2
北辺四坊一町	上・京都御苑1	3/7	-0.35m、江戸の包含層(土師器皿、染付焼)。	HL429	3
一条四坊十四町	上・京都御苑	1/25~3/7	Na 2・3 : -0.3m、近世の包含層(土師器皿)。 -0.5m、平安~鎌倉の包含層(土師器皿)。Na 4 : 地表上で時期不明の石組の排水路。	HL370	3
二条三坊十四町	中・東洞院通竹屋町下る三本木五丁目479	3/8-13	-1.1mまで現代盛土。	HL431	3
三条一坊三町	中・西ノ京磯町6-1他	1/31、2/8	Na 1 : -0.14m、江戸末期の包含層(染付)。 -0.9 m以下、オリープ褐色砂泥の地山。Na 2 : -0.35~-0.5m、江戸の包含層2(土師器皿、陶 器、平瓦)。 -0.65m以下、 いはい黄褐色砂泥の 地山。	HL381	2

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
三条二坊十五町	中・堀川通御池押廻町～御池通烏丸西入龍池町 地先	2/7・8・10	-1.8mまで攪乱。	HL388	2
三条三坊 七町	中・新町通押小路下の中之町52-2,54 御池通室町西入西横町167-1・2,168	3/8・9・13・22・23	-1.44m, 桃山の土層(土師器皿・甕, 陶器皿・天目鉢)。その南側で近世の東西土(土師器皿, 陶器鉢鉢, 瓦)。	HL432	3
三条三坊十一町	中・御池通烏丸西入虎屋町 地内	2/17	-1.7mまで現代盛土。	HL406	3
三条四坊 七町	中・押小路通梅馬橋西入竹屋町155	3/15～17・23	No 1: -1.05m, 平安の包含層(土師器皿, 軒平瓦)。-1.35m, 平安後期の包含層(土師器皿, 白色土器皿, 須恵器甕, 平瓦)。-1.65m以下, 黄褐色泥砂の地山。No 2: -1.37m, 時期不明の落込。	HL437	3
四条二坊 六町	中・東堀川通錦小路上る四坊堀川町 地内	1/11～14・17～19	-1.0m, 時期不明の南北の石列(花崗岩)。	HL356	4
四条四坊十三町	中・御幸町通錦小路下る大目町416・3・4・5	2/7～17	-1.4m, 江戸の包含層(瓦)。	HL392	5
五条一坊 十町	中・壬生賀陽御所町86-2,87-2	3/31, 4/3～7	-0.35mで暗褐色砂泥小礫混の地山を切って平安後期の落込(土師器皿, 平瓦)。	HL453	4
五条二坊 八町	下・堀川通四条下る四条堀川町273, 佐竹町395	3/21・29, 4/11～14	No 1: -0.33mで暗褐色砂泥の地山を切って室町の落込(土師器皿, 陶器甕)。No 2: -0.65m, 室町の土層(土師器皿, 陶器鉢, 青磁瓶)。No 3: -0.95m, 室町の包含層(土師器皿, 陶器甕)。-1.3m, 時期不明の包含層(土師器皿, 須恵器甕)。-1.4m以下, 黄褐色泥砂の地山。	HL444	4
五条三坊 一町	下・西洞院通四条下る妙伝寺町696	2/7・10・14	-0.06m, 鎌倉の土層(土師器, 瓦器大倉)。	HL393	5
五条三坊 一町	下・新町通四条下る四条町350-1・2	3/6	-0.3mまで現代盛土。	HL427	5
五条三坊 二町	下・綾小路通新町西入矢田町127	1/7・11～14	No 1: -1.0m, 室町の包含層(土師器皿, 石製品)。-1.5m, 鎌倉の落込(土師器皿)。-1.7m, 平安後期の柱穴2(土師器皿, 白磁, 緑釉陶器)。	HL346	5
五条三坊 七町	下・新町通綾小路下る船鉦町387,381, 381-2	2/14	-2.03m以下, 深い黄褐色泥砂の地山。No 2: -1.6m, 鎌倉の包含層(土師器皿, 石製品)。 巡回時, 工事終了。	HL399	5
五条四坊 二町	下・東洞院通綾小路下る扇酒屋町294-1他3集	2/24・25・28・29, 3/1・2	No 2: -0.4m以下, 時期不明の石組列。No 3: -1.45m, 鎌倉の包含層(土師器皿)。No 4: -1.25m, 平安後期の落込(土師器皿, 白磁皿, 平瓦)。	HL417	5
六条二坊 七町	下・五条通堀川西入椿本町576-1,702	1/20・24～26	No 5: -1.2・-1.4mで江戸の落込2(土師器皿・鉢・鉢, 染付筒・壺・甕, 磁器, 施釉陶器壺・甕・鉢・盤, 地輪陶器鉢鉢, 平瓦, 丸瓦)。 No 1: -0.81m以下, 黒褐色泥砂の地山。No 2: -0.67m, 時期不明の包含層(土師器, 陶器甕)。 No 3: -0.47m, 江戸の包含層。No 4: -0.2m, 江戸の包含層(染付, 軒平瓦, 瓦)。	HL367	4
六条三坊 二町	下・新町通五条上る材木町139	1/31, 2/3	-0.6m, 室町の落込(土師器, 白磁瓶, 陶器鉢, 平瓦)。 -0.12m, 江戸中期の瓦葺。-1.48m, 江戸前期の包含層(土師器, 須恵器, 輸入磁器)。	HL380	5
六条三坊 六町	下・梅梅通新町東入上柳町225-5 五条通新町東入東健屋町181-1	99/12/10, '00/2/14-15	No 1: -1.97m, 江戸の井戸。No 2: -1.97m, 江戸の掘地状堆積(墨書(の曲物壺)。本文10ページ)。	HL331	5
六条三坊 九町	下・烏丸通松原下る五条烏丸町393-2他2集	2/18～3/13	No 1: -3.0m, 江戸の包含層(増埴, 陶器鉢鉢)。 No 3: -2.05m, 江戸の落込(陶器碗・壺・指鉢, 平瓦)。	HL407	5
七条二坊 五町	下・堀ヶ井通七条上る華園町70	1/27, 3/10	-1.56m, 時期不明の落込, 平安の包含層(須恵器, 瓦)。	HL378	6
七条四坊 三町	下・正面通東洞院東入廿人講町31	1/7・11～14	-0.55m, 室町の土層(土師器皿)。落込(土師器皿)。	HL347	7
七条四坊 九町	下・西木屋町通上ノ口上る梅澤町88	1/12	-0.8・-0.94・-1.0m, 中世の包含層3(土師器皿, 陶器甕)。	HL357	7
八条一坊 三町	下・観音寺町6-11	2/10・14	-1.1m, 平安後期の落込(土師器皿)。	HL396	6
			-1.16m, 東洞院大路の路面。本文11ページ。		
			-0.05mまで現代盛土。		
			-0.7m, 江戸の包含層(染付筒, 布目瓦)。		

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
八条二坊 二町	下・嵯峨通本陣屋端下金換町94	2/24	巡回時、工事終了。	HL418	6
八条二坊十四町	下・東塩小路町 JR京都駅構内	1/24・25, 2/7	-1.15mまで現代盛土。	HL371	6・7
八条四坊十一町	下・下之町 地内	2/28	-1.55mまで現代盛土。	HL421	7
九条一坊 三町	南・八条内田町他 地内	3/1~11/1	No 2 : -0.45m, 時期不明の落込, -0.5m以下、褐色砂泥の地山, No14 : -1.57m, 近世の包含層(白磁、瓦), -0.8mでオリーブ色の砂礫の地山を切って近世の落込(土師器), No29 : -0.42m, 時期不明の針小路南側溝。	HL423	6
九条二坊十二町	南・東九条松田町他8箇町 地内	2/1~4/13	-0.35m, 江戸の包含層(染付碗、陶器鉢), -0.55m, 時期不明の包含層(土師器)。	HL383	14・3
九条三坊十五町	南・東九条西山町15-1	2/28~3/8	No 1 : -0.35m, 鎌倉の包含層(土師器皿), No 2 : -0.36m, 時期不明の柱穴, No 3 : -0.18m, 平安後期~鎌倉の土壌(黒色土器、瓦器類), No 4 : -0.18m, 鎌倉の落込(土師器皿, 平瓦)。	HL420	7

平安京右京 (HR)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺三坊 八町	北・寺持院南町73-3, 73-4の一部	2/17-18	-2.6mまで現代盛土。	HR403	8
一条二坊 九町	中・西大路通、北野中学校前~丸太町通地内	3/21~6/15	No 4 : -0.1m, 時期不明の包含層(土師器皿、瓦器), No10 : -0.18~-0.35m, 時期不明の包含層2(上層陶器、下層土師器), No12 : -0.2m, 時期不明の包含層(土師器), -0.8m以下、にょい黄褐色砂泥の地山, No15 : -0.5m, 時期不明の包含層(土師器、須恵器), No17 : -0.35m, 平安の包含層(土師器鉢、須恵器杯), -0.7m以下、にょい黄褐色砂泥の地山, No18 : -0.4m, 平安前期の包含層(土師器杯), -0.7m以下、にょい黄褐色砂泥の地山, No27 : -0.8m, 褐色微砂の地山を切って時期不明の落込。	HR443	9
四条一坊 一町	中・西ノ京橋尾町32-2, 壬生天池町5-2他	'99/10/15~ '00/1/24	-0.58m以下、灰オリーブ色砂礫の地山。	HR266	11
四条一坊 二町	中・壬生朱雀町32-2, 3-4の一部	2/14	-0.3mまで現代盛土。	HR400	11
四条三坊 四町	右・西院真町30-1	2/23~25-28-29	No 1 : -0.13m, 路面7, -0.9m, 江戸の包含層(染付碗、陶器碗), -1.65m, 時期不明の路面3, No 2 : -0.96m, 江戸の包含層(土師器皿、施繪陶器鉢), -1.26m, 平安後期の包含層(土師器皿), -1.36m, 平安前期の包含層(土師器杯・壺), -1.55mでにょい黄色砂泥の地山, 本文14ページ。	HR416	10
五条一坊 一町	中・綾小路通、東新道~千本通 地内	3/9-10-13~15- 17-23	No 1 : -0.77m以下、近世の溝, No 2 : -0.4m, 江戸の包含層(陶器), No 3 : -0.5m, 時期不明の包含層(土師器皿), -0.83m, 時期不明の落込。	HR433	11
五条二坊十二町	右・西院平町1	3/27~30	No 1・2・3 : -0.37~0.53m, 養生前期の流路状遺構, (弥生土器壺・壺、石片), No 4 : -0.57m以下、にょい黄褐色砂泥層間の地山。	HR449	11
五条三坊十六町	右・西院日原町1 四条中学校	1/27~3/29	-1.0mまで現代盛土。	HR377	10
五条四坊 八町	右・西院安福町23	1/11	-1.2mまで現代盛土。	HR351	10
六条一坊 六町	下・中堂寺南町 地先	3/1~23	-0.65m以下、褐色砂泥の地山。	HR422	11
六条二坊十三町	右・西院西中水町28他9棟	2/9-10-15~17	No 3・4 : -0.78m, 平安中期の包含層(土師器皿、平瓦), -0.9m以下、暗褐色砂泥の地山, No 5・6 : -0.63m, 平安以前の溝(土師器壺), -0.62m, 時期不明の包含層(土師器)。	HR394	11
六条三坊十二町	右・西京極北庄地町4-3-4	1/12	-0.62m, 時期不明の包含層(土師器)。	HR358	10
六条三坊十二町	右・西院西溝崎町 地内	2/1~22	-0.45m以下、湿状地地境。	HR385	10
七条一坊十三町	下・西七条北東町13	3/30-31, 4/3	No 1 : -0.46m以下、暗褐色砂泥の地山, No 2 : -0.2m, 平安末期~鎌倉の土壌(土師器皿、須	HR452	13

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
七条一坊十四町	下・西七条南領町32 七条中学校	1/18	恵壽堂、白磁、瓦。		
八条一坊十二町	下・梅小路東中町104-3	1/11-14	-1.1m以下、流れ堆積。	HR364	13
八条二坊二町	下・西七条石井町61 七条小学校	1/14	-0.34m、時期不明の落込。	HR352	13
八条三坊六町	南・吉祥院西ノ庄西浦町27-1-2	1/12-14	-0.8mまで現代盛土。	HR361	13
八条三坊十二町	南・吉祥院西ノ庄西浦町167-1	1/24	-1.88mで灰色泥土を検出。	HR359	12
九条一坊六町	南・唐橋門脇町35 八条中学校	1/11-14	-0.4mまで現代盛土。	HR372	12
九条一坊十町	南・唐橋門脇町35 八条中学校	3/13-17-23	-0.75m、古墳前期の南北溝（土師器壺・高杯） -1.3m、時期不明の包含層（流れ堆積）。	HR353	13
九条一坊十一町	南・八条通～九条通、御前通～新千本通 地内	1/11-5/8	No 1：-0.5m、平安の包含層（土師器壺） -0.6m、時期不明の包含層（土師器、瓦） No 2：-0.6m、平安の包含層（土師器壺、須恵器杯、 灰輪陶器、瓦）。	HR436	13
九条一坊十四町	南・唐橋西寺町34	3/15-17- 21-24	No 1：-0.42m、時期不明の包含層。 -0.52m、 平安の包含層（土師器杯、須恵器） -0.97m、 古墳の包含層（土師器壺） No 2：表層で「石 為」刻印平瓦。 No 9：-0.45m、時期不明の包 含層（土師器、瓦） No 18：-0.6m、平安中期 の包含層（土師器壺・甕・高杯、白磁、白色土 器碗、須恵器壺、鎌形陶器板、黒色土器壺） -0.8m以下、流れ堆積。 No 22：-0.53m、時期不 明の包含層（土師器、瓦） No 25：-0.5m、平 安の包含層（土師器、須恵器） No 26：-0.35m、 時期不明の包含層（土師器） -0.5m以下、流 れ堆積。	HR438	13

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
植物園北遺跡	北・上賀茂藪田町24 西蒲園公園	1/11	-0.3mでいよいよ黄褐色砂礫を検出。	RH355	15-5
植物園北遺跡	左・下鴨南野々神町1-4-7	2/14-18-21	No 1：-0.18m、時期不明の落込。 -0.21m以下、 にいよいよ黄褐色砂礫の地山。 No 2：-0.04m、時 期不明の包含層（土師器壺） -0.24m以下、黄 褐色砂礫の地山。	RH402	15-5
植物園北遺跡	北・上賀茂松本町94.103	2/22	-0.42m、時期不明の包含層（土師器壺）。	RH411	15-5
植物園北遺跡	北・上賀茂地地町 地先	3/6-28	No 2：-0.6m、黒褐色砂礫の地山を切って、古 墳前期の土壌（土師器壺） No 3：-0.6m、時 期不明の包含層。 No 6：-0.58m、古墳前期の 包含層（土師器壺）。	RH428	15-5
植物園北遺跡	北・上賀茂松本町46-1	3/30-4/3	-0.67m以下、にいよいよ黄褐色砂礫の地山。	RH451	15-5
北野遺跡	北・北野南梅町1	2/3-14	+0.05m、にいよいよ黄褐色砂礫の地山を切って時 期不明の落込。	RH387	14-1
北野遺跡	北・北野上白梅町26	1/18	-0.12m以下、黒褐色砂礫の地山。	RH365	14-1
北野原寺					
本山遺跡	北・上賀茂本山 地先	2/23-29	No 2・3：-0.15-0.2m以下、浅黄褐色砂礫の 地山。	RH414	15-3

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
南野古墳群	右・太秦原地町17-12-13	2/22	-1.0mまで現代盛土。	UZ413	16-5
清涼寺境内	右・嵯峨歌論堂藤ノ木町19-1,20-1	2/21~3/31	-0.5m、江戸の包含層(土師器Ⅱ)。	UZ408	16-3
円乗寺跡	右・御室町19 御室小学校	2/17-8	-0.68m、時期不明の落込。	UZ384	17
法金剛院境内	右・花園扇野町34-10他3棟	1/21~28	平安後期の地盤。本文18ページ。	UZ369	17
村ノ内町遺跡	右・常盤村ノ内町1-4-5-20	2/14-15	No.1: -0.4m、鎌倉の包含層(土師器Ⅱ)、-0.62m以下、黄褐色泥砂の地山。No.2: -0.11m、平安末期~鎌倉の落込(土師器Ⅱ)、-0.41m以下、黄褐色泥砂の地山。No.3: -0.4m、平安末期~鎌倉の土壌(土師器Ⅱ、滑石鱗)、-0.77m以下、にょい黄灰色泥砂の地山。	UZ401	17

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北白川瓦葺跡	左・北白川上絆町67	3/28~4/19	No.1: 表採で傾息器Ⅱ。No.4: +1.5m、時期不明の包含層(瓦)。+0.35m以下、明黄褐色砂泥の地山。	KS450	18-1
吉田山遺跡・吉田神社境内	左・吉田神楽岡町30-1	1/25	-0.4m以下、橙色粘土の地山。	KS374	19
京都大学総合人間学部構内遺跡・白河街区跡	左・吉田上大路町~岡崎入江町 地内	'99/12/7~'00/3/30	No.1: -0.44m、壺町の包含層(土師器Ⅱ)、-1.0m以下、灰褐色粗砂の地山。No.13: -0.34m、中世の包含層(土師器Ⅱ)。No.28: -0.66m、壺町の土壌(土師器Ⅱ)。No.32: -0.55m、平安後期の落込(斬平瓦)、-1.05m以下、浅灰色粗砂の地山。No.40: -0.2m、平安後期の包含層(土師器Ⅱ)。No.47: -0.3m、平安後期の落込(土師器Ⅱ、瓦葺)。-0.85m以下、黄褐色微砂の地山。	KS326	19

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
中久世遺跡	南・久世中久世町四丁目13-1	1/27	-0.95mまで耕作土。	MK379	27-1
八幡宮古墳群	西・大原野石作町	'99/12/9~'00/5/9	No.2: -1.2m、江戸の包含層(陶器Ⅱ)。No.3: -0.7m以下、明黄褐色砂泥の地山(大山沢倉)。	MK329	26-1
南春日町発跡	西・大原野南春日町 地内	'99/11/4~'00/4/11	No.2~5: -0.15~0.45m以下、黄褐色系砂泥の地山。No.6: -0.7m、江戸の包含層(陶器Ⅱ)。	MK288	26-1
灰方古墳群	西・大原野灰方町・小強町飛地	2/7~6/27	No.1: -0.15~0.55m、時期不明の路面5。以下、にょい黄褐色泥砂の地山。No.2: -1.1m以下、褐色砂泥の地山。No.7: 表採で傾息器Ⅱ。No.16: -0.3m、時期不明の路面。No.18: -0.2m以下、浅灰色粘土の地山。	MK390	26-1

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
法住寺殿跡	東・本町十丁目 一橋小学校	1/25-26-28, 2/7	-0.86m、江戸の包含層(染付Ⅱ、瓦)。-1.56m以下、暗灰黄色砂泥の地山。	RT375	20
法住寺殿跡	東・今泉野宝蔵町 地内	2/23~3/14	-0.4m以下、橙色粘土の地山。	RT415	20
中臣遺跡	山・西野山中臣町26-110	2/7	-0.07mまで現代盛土。	RT391	23-2
中臣遺跡	山・勧修寺西金ヶ崎272	2/22	巡回時、工事終了。	RT412	23-2
中臣遺跡	山・勧修寺東金ヶ崎 勧修寺公園	3/16-17	巡回時、工事終了。	RT439	23-2
大宅遺跡・大宅院寺	山・大宅山田113 大宅中学校	1/31, 2/1-7	-0.5mまで現代盛土。	RT382	23-4

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
上鳥羽遺跡	南・上鳥羽南部町田23-4他6筆	1/7	-0.2mまで現代盛土。	T B348	22
上鳥羽遺跡	南・上鳥羽町田他	2/10・14~16	-0.9m。時期不明のピット2、落込(土器、サヌカイト剥片)。	T B397	22
西蔵食町遺跡	伏・名神高速道路南側道、国道24号線～ 師団街道 地内	3/22~5/16	No16:-0.7~-0.93mで時期不明の包含層2(土師器、瓦)。 -1.13m。平安後期～鎌倉の包含層(土師器皿、瓦器羽釜)。No17:-0.71m。鎌倉の包含層(土師器)。No20:-0.58m。明褐色細砂の地山を切って時期不明の土壌。	T B448	21
鳥羽離宮跡	南・上鳥羽指ノ森州崎町～ 伏・中鳥羽ノ山町 地先	'99/5/19～ '00/3/29	-1.64m以下、流れ堆積。	T B060	22
鳥羽離宮跡	伏・竹田浄菩提院町31	1/19-20	-0.85m以下、旧耕作土と地状堆積。	T B366	22
鳥羽離宮跡	伏・中鳥羽所ノ内町34	2/7	-0.4mまで現代盛土。	T B389	22
鳥羽離宮跡	伏・竹田浄菩提院町75-2	2/16	-0.5mまで現代盛土。	T B405	22
鳥羽遺跡	伏・竹田田中殿町～竹田西内畑町 地先	'99/12/17、 '00/2/25	-0.8m以下、灰色砂礫の地山。	T B337	22
鳥羽遺跡	伏・中鳥羽所ノ内町21,22	2/16	-0.9mまで現代盛土。	T B404	22
鳥羽離宮跡	伏・竹田島羽殿町～竹田浄菩提院町 地先	2/21~4/4	No7:-1.43m。時期不明の包含層。No13:-1.05m。時期不明の包含層(土師器)。No15:-1.0m。時期不明の包含層(土師器)。No16:-1.03m以下、オリーブ灰色砂泥の地山。No20:-1.1m。平安の包含層(土師器、黒色土器)。	T B409	22
鳥羽遺跡	伏・中鳥羽所ノ内町 地先	3/9~23	-2.3mまで現代盛土。	T B434	22
鳥羽遺跡	伏・竹田浄菩提院町～竹田内畑町 地先	2/25~3/8	No2:-0.85m。時期不明の落込。No3:-0.7m。平安の包含層(瓦)。	T B419	22
竹田城跡					

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
醍醐院寺	伏・醍醐中山町他 地内	2/21~28	±0m以下、オリーブ灰色砂礫の地山。	FD410	23-5
醍醐院寺	伏・醍醐西大路町 地内	3/15~23	-1.4mまで現代盛土。	FD440	23-5
醍醐院寺	伏・醍醐北西裏町～醍醐中山町	3/21~6/21	-2.5m以下、黒色粘土の地山。	FD445	23-5
伏見城跡	伏・村上町～京鎮町 地内	1/24~2/29	No2:-1.5m。江戸の整地層。No12:-0.15~0.44m。時期不明の路面5。No15:-0.65m。江戸の包含層(陶器、灯明皿)。	FD373	24
伏見城跡	伏・桃山町新町～桃山町大津町 地内	1/26~2/17	No2:-0.4m以下。時期不明の路面15。No4:-0.15~0.45mまで時期不明の路面4。	FD376	25
伏見城跡	伏・桃山殿上町5-1	3/2	-0.27mまで現代盛土。	FD425	24
伏見城跡	伏・桃山殿上町27	3/15	+0.2mで褐色砂泥の地山を切って時期不明の土壌。	FD441	24

III 2000年 4~12月期 (平成12年度)

平安宮 (HQ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図面
鎌	室上・御前通一条下る東野町132-1 仁和小学校	6/13・20・27	-0.9mまで現代盛土。	HQ078	1
鎌	室上・御前通一条下る東野町132-1 仁和小学校	12/6・18~21	-0.82m、江戸末期の包含層。	HQ267	1
大	森上・六軒町通中立亮下る四番町126	6/29~7/7	-0.17m以下、黒色砂泥の地山。	HQ103	1
大	森上・浄福寺通中立亮下る斐丸9170	7/24・25	-1.3m、江戸後期の焼土層。-1.6m、江戸中期の包含層(土師器)。-1.75m、江戸前期の包含層(土師器)。	HQ125	1
大	森上・浄福寺通一条下る東西儀町668-14	9/13・18	-0.1mまで現代盛土。	HQ177	1
大	森上・仁和寺街道千本東入西富仲町466-1	11/21・22	-0.08m、近世の包含層。-0.18m以下、暗オリーブ色砂泥の地山。	HQ244	1
大	森上・浄福寺通中立亮下る斐丸町109-5の一部	11/27~12/4	巡回時、工事終了。	HQ255	1
主	殿寮上・中立亮通日暮東新白水丸町462-101	8/7	-0.25mまで現代盛土。	HQ141	1
内	内教坊上・大宮通上長者町上る和水町439-2	5/11	-0.32m、江戸の包含層。	HQ035	1
内	内教坊上・大宮通上長者町上る和水町439-2	5/11	-0.16m、近世層。	HQ036	1
内	内教坊上・日暮通中立亮下る須賀池町247-9	6/27, 7/3	-0.26mまで現代盛土。	HQ100	1
内	内教坊上・大宮通上長者町上る和水町439-2	7/11	-0.62mまで現代盛土。	HQ111	1
内	内教坊上・大宮通上長者町上る和水町439-2	7/11	-0.62mまで現代盛土。	HQ112	1
内	内教坊上・大宮通上長者町上る和水町439-2	7/11	-0.62mまで現代盛土。	HQ113	1
内	内教坊上・日暮通中立亮下る須賀池町245-3	10/18~11/6	-0.3m以下、黄褐色砂泥を抽出。	HQ215	1
内	内教坊上・大宮通中立亮下る常陸町425の一部	11/24	-0.4m、近世の包含層。	HQ251	1
内	内教坊上・大宮通中立亮下る常陸町425-1の一部	11/24	-0.4m、近世の包含層。	HQ252	1
内	内教坊上・大宮通中立亮下る常陸町425-1の一部	11/24	-0.4m、近世の包含層。	HQ253	1
正	正観司上・御前通仁和寺街道上る東野町 地先	5/24	-1.05m、オリーブ褐色微砂の地山を切って時期不明の落込。	HQ048	1
正	正観司上・下長者町通七本松西入鳳鳴町223-5	6/26	-0.02mまで現代盛土。	HQ095	1
右	近衛府上・御前通下立亮上る三丁目西上之町278-16	11/24	-0.15m以下、褐色砂泥の地山。	HQ250	1
宴	宴の松原上・七本松通仁和寺街道下る二番町213	11/21・22	-0.33mまで現代盛土。	HQ245	1
織	織殿寮上・下長者町通浄福寺西入新御寺町51の一部	9/19・20	-1.4m以下、暗オリーブ色砂泥の地山。	HQ181	1
織	織殿寮上・下長者町通浄福寺西入新御寺町27	12/18~20	No 2 : -0.33m、平安前期の包含層(土師器)。No 3 : -0.45m、江戸後期の包含層。	HQ282	1
梨	本上・裏門通上長者町下る電木町218-5、須賀町564-2, 562-2	8/31~9/8	-0.47m、近世の包含層。	HQ153	1
左	近衛府上・下長者町通日暮東入西原巳町 地先	9/20~26	巡回時、工事終了。	HQ184	1
職	御曹司上・出水通智恵光院西入田村南前町211-8	9/28	-0.13m、江戸末期の焼土層。	HQ191	1
内	内表上・土屋町通下立亮上る田中町443-3	12/1	-0.2mまで現代盛土。	HQ263	1
内	内裏隣接地上・下立亮通千本東入中務町490-30の一部	11/22・27	-0.12mで暗褐色砂泥を抽出。	HQ247	1
内	内裏隣接地上・下立亮通千本東入中務町490-30の一部	11/22・27	-0.04、-0.08m、時期不明の整地層 2。	HQ248	1
右	右兵衛府上・御前通下立亮上る天満屋町324-1の一部	4/14	-0.2mまで現代盛土。	HQ010	1
右	右兵衛府上・御前通下立亮上る天満屋町 地先	5/29~31	-0.7mまで現代盛土。	HQ052	1
東	東糺院上・松原町通下立亮下る二丁目640-2	10/10・11	-0.26mまで現代盛土。	HQ204	1
造	造酒司中・築港橋下町9-4	12/1	-0.5mまで現代盛土。	HQ280	1
造	造酒司隣接地上・下立亮通七本松西入西東町369-2, 372-3	6/29	-0.3mまで現代盛土。	HQ104	1
造	造酒司隣接地上・築港廻西町61-3	8/7・8	-0.35mで江戸後期の包含層。	HQ142	1
造	造酒司隣接地上・築港廻西町61-3	8/7・8	巡回時、工事終了。	HQ143	1
内	内匠寮中・西ノ京左馬場町24-3	6/13~29	-0.4m以下、褐色粘土の地山。	HQ079	1
豊	豊楽院中・築港廻南町地先(六軒町通二条~星池公園南通)	4/3~6/21	No 3 : -0.4m以下、黄褐色砂泥の地山、No 7 : -0.25m、時期不明の土層(土師器Ⅲ、瓦)。No 13 : -0.1m、近世の包含層(陶器)。-0.2m、時期不明の包含層(土師器、瓦)。-0.45m以下、褐色砂泥の地山、No15 : -0.48m、黄褐色砂泥の地山を切って時期不明の落込。No21 : -0.4m、時期不明の落込(瓦)。-0.8m以下、黄灰色砂泥の地山。	HQ001	1
豊	豊楽院中・築港廻西町98	5/11	+0.15m、近世の包含層。	HQ038	1
豊	豊楽院中・築港廻南町6-10	6/27~7/3	-1.25m以下、褐色砂泥の地山。	HQ101	1
豊	豊楽院中・築港廻中町41-1	8/23・24	-0.43mまで現代盛土。	HQ147	1

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
豊楽院	中・粟栄福町118	9/8	+0.22mで炭を含む褐色砂泥を抽出。	HQ165	1
豊楽院	中・粟栄福町122-8	9/18	-0.3mまで現代盛土。	HQ180	1
豊楽院	中・粟栄福町186-3	10/30-31	+0.1mまで現代盛土。	HQ229	1
明堂院	上・竹屋町通千本東入主祝町1210-2	6/5	-0.85mで黒褐色砂泥を抽出。	HQ059	1
明堂院	中・粟栄福町43-19	6/7	-0.7mまで現代盛土。	HQ065	1
明堂院	上・竹屋町通千本東入主祝町1158	7/3/4-6-7	巡回時、工事終了。	HQ106	1
明堂院	上、中・千本通東側、 九太町通～竹屋町通他 地内	10/2～12	千本通東側は-1.4mまで掘削。竹屋町通は巡回時、工事終了。	HQ198	1
大膳職	上・松屋町通九太町上る左馬松町782-5	7/25-27	-0.42m、江戸中期の包含層（土師器、埴付、青磁碗、白磁）。	HQ128	1
宮内省	上・竹屋町通千本東入主祝町1254-1	5/1	-0.07mまで現代盛土。	HQ029	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町7	12/11・12	-0.45mまで現代盛土。	HQ075	1
治部省	中・西ノ京内堀町11-24	5/26	-0.2mまで現代盛土。	HQ051	1

平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
一条大路	上・一条通淨福寺東入南新在家町333	6/6	-0.35mまで現代盛土。	HL064	2
一条二坊一町	上・大宮通上長者町下る藤五郎町586	6/13	巡回時、工事終了。	HL080	2
一条二坊二町	上・大宮通出水上る清元町746	9/1-4	-0.22mまで現代盛土。	HL154	2
一条二坊十一町	上・堀川通出水下る四町目196-1	12/6-26	巡回時、工事終了。	HL268	2
一条二坊十二町	上・油小路通橋本町上る西藤辻町255-1-5-8-11	10/31～11/6	-0.25mまで現代盛土。	HL231	2
一条二坊十四町	上・油小路通下立売上る近衛町164	9/7	-0.8m、江戸後期の包含層。	HL164	2
一条四坊十六町	上・京都御所3	10/31～11/13	平安の池状地積、景石を抽出。本文3ページ。	HL228	14-4
二条二坊十一町	中・奥川通堀川東入西夷川町575	6/12～27	弥生中期の包含層、平安中期の冷泉小路北側溝を抽出。本文5ページ。	HL073	2
二条三坊十二町	中・烏丸通奥川下る藤屋町258	6/9-12～14	No 1：-1.09m以下、近世の埋れ堆積。No 2：-0.9m、近世の包含層。No 3：-1.1m以下、にふい黄褐色粘土の地山。	HL071	3
二条四坊四町	中・岡之町通二条上る夷町573-1	9/5～7	-1.14m、江戸後期の包含層。	HL158	3
二条四坊五町	中・柳馬場通二条上る六丁目274	6/22～7/4	平安の万里小路西側溝、弥生の整六住居を抽出。本文1ページ。	HL093	3
二条四坊六町	中・瀬町通竹屋町下る福屋町120	9/19-21	±0 m、江戸末期の包含層。-0.38～-1.24mで洪水層3。-1.12m、江戸中期の焼土層。	HL182	3
二条四坊七町	中・高倉通竹屋町上る坂本町689、690	4/24～5/12	No 2：-0.44m、平安末期の包含層（土師器Ⅱ）。-0.94m以下、にふい黄褐色砂泥の地山。No 3：-0.7m、時期不明の包含層（土師器）。-1.1m、にふい褐色砂泥の地山を切って京町の落込（土師器）。No 4：-0.99m、室町の包含層（土師器Ⅱ）。No 5：-0.75m、鎌倉の包含層（土師器）。No 6：-0.5m、江戸の落込（土師器Ⅱ、白磁碗・鉢）。	HL024	3
三条一坊四町	中・西ノ京南整町18-21	12/8～13	-0.9m、江戸後期の泥炭堆積。-1.15m以下、灰色泥砂の地山。	HL272	2
三条一坊十町	中・西ノ京職司町67-48-57-88	10/10～13-16	-0.9m、時期不明の埋地状地積。掘土から木簡（両面不明文字）、-1.3m以下、にふい黄褐色砂泥の地山。	HL205	2
三条一坊十四町	中・神泉苑通御池下る神泉苑町12-1	5/9	-0.5m、近世の包含層。	HL032	2
三条二坊十五町	中・西洞院通押小路下る押西洞院町624	6/5～8-12	-1.5～-2.5mまで平安後期～鎌倉の窪地状地積（土師器Ⅱ、瓦葺、木片）。-2.5m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	HL061	2
三条二坊十六町	中・小川通二条下る古城町358	8/11	-0.06m、江戸末期の焼土層。	HL144	2
三条三坊七町	中・衣櫛通押小路下る下妙覚寺町188 新町通押小路下る中之町46-1	11/10-13	-1.8m、鎌倉の包含層（土師器Ⅱ）。-2.1m、平安中期の落込（土師器Ⅱ、青磁）。-2.2m以下、褐色砂泥の地山。	HL238	3
三条三坊七町	中・御池通室町西入西横町174他	11/15-16-20	No 1：-0.4m以下、褐色粘土の地山。No 2：-0.8m、江戸後期の包含層。-1.33m、江戸の土塊。-1.8m以下、オリーブ褐色粘土の地山。	HL241	3

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
三条三坊十二町	中・洞替町通橋小路下る柿本町398	4/17~20	-1.95m以下、暗灰黄色砂礫の地山。	HL014	3
三条三坊十二町	中・洞替町通三条上る柿本町397	11/24・27・28	No 1 : -1.75m、暗灰黄色粗砂の地山を切って室町の落込(土師器)。No 2 : -1.26m、室町末期の包含層(土師器皿、須恵器甕)。-1.74m、室町後期の包含層(土師器皿、土師器壺、丹波縮鉢)。-1.9m、室町前期の包含層(土師器皿)。No 1 : -0.56mまで現代盛土。No 2 : -1.38m、江戸前期の包含層。	HL254	3
三条三坊十三町	中・鳥丸通三条上る場之町604	10/13・16	No 1 : -0.75m、江戸後期の包含層。-0.87m以下、洪水層。No 2 : -0.4m、近世の包含層。	HL212	3
三条四坊 一町	中・東洞院通舟小路上る瓦之町394	12/7~12	No 1 : -1.05~-1.23m、江戸後期の包含層2。-1.28m、桃山の包含層。No 2 : -0.9m、江戸後期の包含層。	HL269	3
三条四坊十二町	中・富小路通三条上る横長町111	9/28~10/6	No 1 : -0.75m、江戸後期の包含層。-0.87m以下、洪水層。No 2 : -0.4m、近世の包含層。	HL196	3
三条四坊十四町	中・御幸町通御地下る大文字町341	6/14~21	-1.65~-2.55mまで近世の包含層。	HL085	3
三条四坊十六町	中・越屋町通二条下る尾張町215	6/15	-0.04mまで現代盛土。	HL087	3
三条四坊十六町	中・御幸町通二条下る山本町420-1,421	6/21・22	-1.32m、時期不明の包含層(土師器)。-1.52m、時期不明の包含層(土師器皿)。-1.6m、室町の包含層(土師器皿、瓦器)。-1.72m、平安の包含層(土師器、緑釉陶器碗、須恵器壺)。No 1 : -1.0m、江戸以降の包含層。-1.97m以下、暗灰黄色強砂の地山。No 3 : -0.86m、鎌倉の包含層(土師器)。-1.02m、平安の土壌(土師器、須恵器)。	HL091	3
四条一坊 一町	中・壬生朱雀町 4	7/17~24	-0.97m、江戸の洪水層(陶器縮鉢)。-1.07m、江戸の落込(染付碗)。-1.27m以下、炭灰堆積。-0.6m、江戸後期の包含層。	HL115	4
四条二坊 四町	中・黒門通錦小路下る藤岡町501	5/15~17	-0.87m、江戸の洪水層(陶器縮鉢)。-1.07m、江戸の落込(染付碗)。-1.27m以下、炭灰堆積。-0.6m、江戸後期の包含層。	HL043	4
四条二坊十四町	中・西洞院通納薬師下る古西町434	9/13・14・18	-1.62m以下、灰黄褐色砂礫の地山。No 2 : -1.3m以下、暗灰黄色泥砂の地山。	HL173	4
四条三坊 二町	中・晴葉通通新町西入不動町173他	10/18~26	No 1 : +0.3m、江戸後期の包含層。-0.3m以下、泥氈堆積。No 2 : -0.2m、室町後期の包含層(土師器皿)。-0.6m、室町前期の包含層(土師器皿)。-0.9m以下、褐色粗砂の地山。No 3 : -0.3m、江戸後期の包含層。-1.4m以下、泥氈堆積。No 4 : -0.7m、室町後期の包含層(土師器皿)。-1.25m以下、褐色砂礫の地山。No 5 : -0.3m、江戸末期の包含層。-0.85m以下、褐色砂礫の地山。	HL216	5
四条三坊 三町	中・西洞院通納薬師下る古西町446	8/28~9/6	-0.35m、室町の包含層(土師器皿、瓦器)。No 1 : -0.9m、室町の包含層(土師器皿、染付、陶器壺)。-1.23m以下、中世の土壌(土師器皿、陶器壺、瓦器)。-1.2m、弥生の包含層(弥生土器)。No 2 : -1.2m、江戸末期の焼土層。-1.8m、江戸後期の焼土層。-1.85m、江戸中期の包含層。	HL150	5
四条三坊 四町	中・西洞院通錦小路下る緑嶺山町466	4/26~5/15	-0.35m、室町の包含層(土師器皿、瓦器)。	HL026	5
四条三坊 五町	中・室町通錦小路下る菊水鉦町570-5他	7/4,8/7~11	No 1 : -0.9m、室町の包含層(土師器皿、染付、陶器壺)。-1.23m以下、中世の土壌(土師器皿、陶器壺、瓦器)。-1.2m、弥生の包含層(弥生土器)。No 2 : -1.2m、江戸末期の焼土層。-1.8m、江戸後期の焼土層。-1.85m、江戸中期の包含層。	HL110	5
四条三坊 六町	中・晴葉通室町西入純脚町201	4/17~20	No 1 : -0.85~-1.2m、室町の包含層2(土師器皿、青磁碗)。No 2 : -2.0m、鎌倉の包含層(土師器皿)。	HL013	5
四条三坊十六町	中・東洞院通三条下る三文字町207	4/10~18	No 2 : -2.95m以下、褐色砂礫の地山。No 3 : -2.02m、江戸の包含層(土師器皿、陶器水甕、焼飯壺、染付)。	HL004	5
四条四坊 三町	中・東洞院通納薬師下る元竹田町637,637-1・2	5/23~30	No 1 : -1.2m、中世~近世の包含層(土師器皿、陶器縮鉢、平瓦)。No 2 : -1.1m、近世の包含層(土師器、天目碗)。-1.35m以下、褐色強砂の地山。No 3 : -1.31m、桃山の落込(土師器壺)。	HL045	5
四条四坊 六町	中・晴葉通高合東入屋金町369	7/26~28・31	-0.83m、江戸末期の焼土層。-1.4m、江戸後期の焼土層。-1.8m、時期不明の焼土層。No 2 : -1.98m以下、濃い黄褐色粗砂の地山。	HL130	5

道 路 名	所 在 地	調 査 日	調 査 概 要	調査名	図版
四条四坊 七町	中・高倉通六角下る和久屋町349	10/18~24	-0.64m、江戸後期の包含層。-1.06m、江戸中期の包含層。	HL217	5
五条一坊十四町	下・仏光寺通大宮西入坊門町827-10	9/12~10/2	No 1 : -1.1~-1.3m、室町の包含層2 (土師器、瓦器、白磁)。-1.5m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。No 2 : -0.6m、江戸前期の包含層 (土師器)。-0.8m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。No 3 : -0.4m、時期不明の包含層 (土師器)。-0.6m以下、褐色砂泥の地山。No 4 : -0.7m、暗褐色砂泥の地山を切って鎌倉後期の落込 (土師器皿、瓦質陶器)。	HL168	4
五条三坊 七町	下・新町通仏光寺上る船針町402	6/22-27	-1.9mまで現代盛土。	HL092	5
五条三坊 七町	下・横小路通室町西入善長寺町147.149	4/11~14	-1.85~-2.19m、室町の包含層2 (土師器、白磁碗)。-3.1m以下、褐色砂泥の地山。	HL005	5
五条三坊十三町	下・松原通東院西入北側園地町651	9/12~10/16	No 1 : -1.12m、室町後期の包含層 (土師器皿)。-1.95m以下、オリーブ褐色粗砂の地山。No 2 : -0.35m、江戸末期の焼土層。-1.24m、室町後期の包含層 (土師器皿)。No 3 : -0.67m、江戸中期の土層。No 4 : -1.46m、江戸中~後期の包含層。-1.6m、東西方向の溝。	HL169	5
五条三坊十四町	下・仏光寺通烏丸東入上柳町311.314.316 烏丸通仏光寺下る大政所町672-1.674.676	12/1~4-5	-1.8m、江戸末期の土層。-2.54m、洪水層。-2.85m以下、褐色粗砂の地山。	HL261	5
五条三坊十五町	下・東院通越後小路下る瀬屋町288-2-3-4-5	11/2~27	No 1 : -1.5m、室町前期の礫地状堆積。No 2 : -0.55m、江戸末期の包含層。-0.7m、焼山の包含層 (土師器皿、肥前系陶器)。-1.05m、室町後期の東西溝 (土師器皿、須恵質陶器鉢)。-0.95m、室町の土層3 (土師器皿)。-1.13m、鎌倉の土層2 (土師器皿)。No 3 : -2.43m、江戸中期の土層。-2.93m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	HL234	5
五条四坊 一町	下・四条通高倉西入立売西町72	7/3-4-6	No 1 : -1.12m、近世の包含層。No 2 : -1.09m、近世の包含層。	HL107	5
五条四坊 七町	下・御馬場通越後小路下る水原町149	10/11~18	No 1 : -0.42m、江戸末期の土層。-0.74m、江戸後期の洪水層。-0.85m、江戸後期の焼土層。-0.95m、時期不明の洪水層。No 2 : -1.05m、江戸後期の土層。-1.46m、江戸前期の包含層。-1.71m以下、黄褐色粘土の地山。	HL209	5
五条四坊十五町	下・仏光寺通寺町西入大黒町271	12/21-22-26	-0.1m、江戸後期の土層。	HL285	5
六条一坊 二町	下・中堂寺坊城町26-1 光池小学校	8/22-23	鎌倉の坊城小路西側溝を横出。本文8ページ。	HL146	4
六条一坊 二町	下・中堂寺坊城町26-1 光池小学校	9/28	-0.6m、平安末期の包含層 (土師器皿、地持陶器鉢、須恵器鉢)。-0.97m以下、褐色粘土の地山。	HL194	4
六条二坊十六町	下・油小路通松原下る横口町296.292-1	5/17	+0.11mまで現代盛土。	HL042	4
六条三坊 二町	下・新町通五条上る材木町129	9/8-13	No 1 : -0.66m、江戸初期の包含層 (土師器皿)。-0.9m、室町中期の包含層 (土師器皿)。No 2 : -0.42m、江戸末期の焼土層 (瓦)。-0.8m、江戸後期の包含層 (土師器皿)。	HL166	5
六条三坊十四町	下・不明門通五条下る上野町448.450.446-1.烏丸通五条下る大政町372	10/10~13-16	No 1 : -0.95m、江戸後期の包含層。No 2 : -0.6m、洪水層。-0.8m、江戸中~後期の整地層。	HL206	5
六条三坊十五町	下・東院通五条上る櫻草町581.582	6/19~22	No 1 : -1.5m、平安後期の包含層 (土師器)。-1.65m、平安前期の包含層 (土師器・瓦)。No 2 : -1.65m、鎌倉の包含層 (土師器皿、須恵器鉢)。-1.75m以下、褐色砂泥の地山。	HL089	5
六条四坊 二町	下・高倉通五条上る亀屋町165	7/21	-0.14mまで現代盛土。	HL121	5
六条四坊十一町	下・五条通河原町西入本覚前町801他	4/24~5/1	-1.66m、平安中~後期の地状遺構 (土師器皿・高杯、須恵器鉢・鉢・壺、黒色土器碗、緑釉陶器碗、白色土器碗)。底部は石敷の溝状。東側隣接地の発掘調査で検出された河原屋の地状遺構の西側延長部。	HL025	5
六条四坊十四町	下・西横越町	9/6~11/24	-0.33m、近代の包含層。	HL162	5

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
七条一坊 二町	下・西新屋敷上之町128	9/6~10/11	Na 1 : -1.2m, 近世の包含層。-2.15m以下、灰オリーブ色細砂の地山。Na 2 : -0.2m, 江戸末期の包含層。-1.45mで坊城小路西整地の内溝。-1.65m以下、灰オリーブ色細砂の地山。平成12年度京都市内遺跡試験調査概報に報告。	HL161	6
七条二坊十一町	下・抽小路通正面下の玉木町211-2	6/20~7/3	Na 2 : -1.47m, 鎌倉の包含層(土師器Ⅲ、白磁)。-2.05~-2.3m, 平安後期の包含層(土師器Ⅲ、灰輪陶器)。-2.35m, 平安中期の落込(土師器Ⅲ、白磁)。Na 3 : -1.18m, 鎌倉の包含層(土師器Ⅲ)。-1.24mで黄灰色粗砂の地山を切って鎌倉の落込(土師器Ⅲ、須恵器)、平安後期の落込(土師器Ⅲ、須恵器)、土質(土師器Ⅲ、白磁)、平安中期の土質(土師器Ⅲ)。	HL090	6
七条三坊十三町	下・東洞院通七条上る勘屋町241、244、246-1合地、264-2	6/5~13	Na 1 : -1.2m, 平安の包含層(土師器、灰輪陶器、須恵器)。Na 2 : -0.8~-1.0m, 時期不明の包含層2(土師器)。-1.15m, 平安中期の包含層(土師器、緑輪陶器)。Na 3 : -1.02m, 時期不明の包含層(土師器、須恵器、黒色土器、白磁)。-1.3m, 中世の包含層(土師器)。-1.6m以下、灰黄褐色細砂の地山。	HL060	7
七条三坊十五町	下・土殿屋町通東洞院西入土殿屋町331	12/6	-0.06m, 江戸末期の焼土層。	HL265	7
七条四坊 九町	下・西木屋町通上ノ口上る梅原町元着浜小学校	9/6	-1.4m以下、近世の洗れ堆積。	HL163	7
七条四坊十三町	下・二之宮町通七条上る下二之宮町435地	9/22~29	-0.88m, 近世の包含層(白磁)。	HL186	7
八条三坊 一町	下・新町通七条下る東塩小路町595-3 西洞院通七条下る東塩小路町600-8	4/12~14・18	Na 1 : -1.28m, 江戸の包含層(陶片)。-1.46m, 中世の整地層(土師器Ⅲ)。-1.56m, 平安後期の落込(土師器Ⅲ、瓦)。Na 3 : -1.76m, 平安末期~中世の落込(土師器Ⅲ、陶器)。	HL008	7
八条三坊 三町	下・烏九通強小路下る東塩小路町926	11/27~12/1	-1.0mまで現代盛土。	HL256	7
八条四坊 二町	下・東洞院通七条下る二丁目東塩小路町684	4/18~5/16	-0.76m, 近世の包含層(陶器)。-0.92m, 時期不明の包含層(土師器)。	HL019	7
八条四坊 九町	下・七条通間之町東入材木町453-2	7/31.8/2・3	-1.35m以下、灰黄褐色細砂の流れ堆積。	HL134	7
八条四坊 十町	下・上之町 地内	5/1・8	-0.8m以下、泥炭堆積。	HL028	7
九条一坊 三町	南・八条内田町65-2	10/10~13	-1.36m以下、褐色砂礫の地山。	HL207	6
九条一坊 九町	南・八条通大宮西入八条町429-1 王生通八条東入東寺町554-7	10/2・3	-0.05m, 江戸前期の包含層(土師器Ⅲ、白磁)。	HL199	6
九条二坊十三町	南・西九条春日町19	5/11~17	Na 2 : -0.7m, 鎌倉の落込(土師器Ⅲ、瓦器類)。北側隣接地発掘調査で検出した南北溝の延長。Na 3 : -1.14m, 鎌倉の包含層(土師器Ⅲ、丸瓦)。	HL037	6
九条二坊十四町	南・西九条春日町 春日公園	10/31	-0.12mで褐色砂礫の地山を切って鎌倉中期の溝(土師器Ⅲ)と時期不明の溝。	HL232	6
九条三坊 九町	南・東九条上殿田町44-45・45-1・2・3・4・5・6・7・9	10/13~12/6	Na 1 : -0.55m, 鎌倉前期の包含層(土師器Ⅲ、須恵器)。Na 2 : -0.53m, 室町前期の包含層(土師器Ⅲ)。Na 4 : -0.21m, 江戸中期の包含層(土師器Ⅲ)。-0.25m, 室町中期の包含層(土師器Ⅲ、白磁)。Na 7 : -0.25m, 室町後期の包含層(土師器Ⅲ)。-0.4m, 室町中期の包含層(土師器Ⅲ、須恵器)。	HL213	7

平安京右京 (HR)

道 跡 名	所 在 地	調査日	調 査 概 要	調査No	図版
一条大路	北・北野下白梅町 地先	4/6	№1: -0.68m, 時期不明の包含層, №2: -0.18 ~ -0.3mで路面2. -0.36m, 時期不明の包含層, -0.62m, 室町の包含層(土師器Ⅱ), №3: -0.8m, 室町の包含層(土師器Ⅱ), -0.52m以下, 褐色砂礫の地山,	HR002	9
一条西坊十三町	右・花園伊町41-7	7/21~8/21	-2.0m, オリープ褐色砂礫の地山を切って時期不明の露出,	HR122	8
二条二坊 八町	中・西ノ京上平町25,26	12/6~8	№4: +0.9m, 平安中~後期の包含層(土師器, 須恵器杯・甕・灰釉陶器Ⅱ・碗, 平瓦), +0.3m以下, 黄褐色砂泥の地山, №5: +0.6m, 平安後期の包含層(土師器Ⅱ, 黒色土器), +0.3m, 平安の露出(青磁碗), №8: +1.25m, 平安の井戸状遺構(土師器Ⅱ, 緑釉陶器碗, 須恵器鉢・甕, 灰釉陶器Ⅱ),	HR266	9
二条二坊十六町	中・西ノ京内町地内	5/24~6/5	-0.7m, 耕作土,	HR049	9
二条三坊 二町	中・西ノ京御門西町25 朱雀第八小学校	8/4	-0.6m以下, オリープ黒色砂泥の地山,	HR140	8
二条三坊十一町	中・西ノ京小堀地町3-3・7,34	9/28~10/2	№1: -0.15m, 江戸後期の包含層, -0.46m,	HR193	8
二条四坊 六町	右・太秦安井馬塚町12-15	9/28~29	鎌倉中期の包含層(土師器Ⅱ), -0.63m以下, 暗褐色粘土の地山, №2: -0.75m以下, 暗褐色砂礫の地山,	HR192	8
二条四坊 九町	右・太秦安井車道町19-100	10/2~3	+0.23m, 時期不明の包含層(土師器), +0.01m以下, 灰オリープ色砂泥の地山,	HR197	8
三条二坊 二町	中・西ノ京麴町65の一,二,66	9/4	巡回時, 工事終了,	HR156	9
三条二坊十二町	中・西ノ京新築町1	6/1~8	姉小路北側溝, 路面を検出, 本文13ページ,	HR058	9
四条二坊十三町	右・西院眞町40-3	6/22~27	-0.5m, 時期不明の包含層(土師器), -0.6m, 平安中期の包含層(土師器Ⅱ・甕, 灰釉陶器碗, 平瓦), -1.02m以下, 灰色微砂の地山,	HR094	11
四条三坊 三町	右・西院春日町3-1 西院小学校	8/1,11/1	巡回時, 工事終了,	HR135	10
四条三坊 三町	右・西院下花田町30	10/26~27・30	-0.17m, 近代の包含層,	HR226	10
五条一坊 一町	中・壬生高橋町13-11	5/30~6/5	№1: -1.4m以下, 流れ堆積, №2: -1.7m以下, 褐色砂礫の地山,	HR056	11
五条一坊 七町	中・壬生高橋町65-8	11/21~22/27	-0.15mまで現代盛土,	HR246	11
五条二坊 三町	中・壬生東橋町12-1	9/13	-0.3m, 平安の包含層(土師器), -0.58m以下, におい黄褐色砂泥の地山,	HR176	11
五条二坊 五町	中・仲町通, 四条通~松原通 松原通, 西土屋通~御前通 地内	6/12~8/8	№9: -0.7m以下, 褐色粘土の地山, №11: -0.24m, 時期不明の包含層(土師器Ⅱ), -0.58m以下, 灰オリープ色砂礫の地山, №12: -0.13m, 時期不明の包含層(土師器Ⅱ), -0.87m以下, 黄灰色泥砂の地山, №13: -0.7m以下, 褐色砂礫の地山, №14: -0.6m以下, 灰褐色泥砂の地山, №19: -1.0m以下, 溜地状堆積, №21: -1.25m以下, 溜地状堆積,	HR074	11
五条二坊十五町	右・西院北矢掛町40	9/22~25~28	№1: -0.45m, 室町の包含層(土師器), -0.75m以下, オリープ褐色砂泥の地山, №2: -0.42m, 室町の包含層(土師器), -0.52m, 平安前期の包含層(土師器Ⅱ, 須恵器鉢, 黒色土器), -0.57m以下, におい黄褐色砂礫の地山, №3: -0.32m, 平安中期の包含層(土師器Ⅱ, 須恵器鉢・甕, 瓦), 底面には小石が散らされる, -0.4mで褐色砂泥の地山を切って時期不明の土壌,	HR187	11
五条三坊 四町	右・西院矢掛町5 西院中学校	9/1~4・5	-0.55m, 平安前期の包含層(土師器Ⅱ・高杯, 黒色土師器, 緑釉陶器, 瓦), -0.77m以下, 褐色砂泥の地山,	HR155	10
五条三坊 十町	右・西院久田町71	10/18~19・24	№1: -0.8m以下, 黄褐色粘土の地山, №2: -0.5m以下, 黄褐色粘土の地山,	HR218	10

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
五条四坊十二町	右・西院月双町33	8/18-21	Na 1 : -0.98m、平安後期の包含層(土師器Ⅱ)。 -1.13m、平安中期の包含層(黒色土器Ⅰ)。 -1.46m以下、褐色泥砂の地山。Na 2 : -1.18m、平安末期の包含層(青磁鉢)。 -1.34m、平安後期の包含層(土師器Ⅱ)。	HR145	10
六条一坊 二町	下・中堂寺北町16-1-4-5-6.94-1-2	5/23-9/27	Na 3 : -0.72m、時期不明の南北溝(土師器Ⅱ)。 Na 4 : -0.87m、にぶい黄褐色砂泥の地山を切って蓋物の落込(土師器Ⅱ)。	HR046	11
六条一坊 六町	下・中堂寺南町65-1.67-1.70の各一部	9/12	-5.9m以下、黄褐色砂泥の地山。	HR167	11
六条一坊十三町	下・中堂寺薬師町1-4の一部、1-5の一部	7/17-8/8	調査地全域発掘調査済。	HR120	11
六条二坊 三町	下・西七条東御前町24他7筆 赤杜町20-1他8筆	12/20-26	+0.5mまで現代盛土。	HR284	11
六条二坊 六町	下・西七条御前町13-1	9/4-6	Na 1 : -0.48mで褐色砂泥の地山を切って落込。 下層から平安の遺物(須恵器)。Na 2 : -0.36m以下、暗褐色砂泥の地山。	HR157	11
六条三坊十二町	右・西院西溝崎町 地先	7/21-8/3	Na 3 : -0.65m、窪地状地積。Na 4 : -0.4m、窪地状地積。Na 5 : -0.62m、灰色粘土の地山。	HR123	10
六条四坊 一町	右・西院清水町136-3	9/5-6	Na 1 : -0.5-0.82m、時期不明の包含層Ⅲ。 -1.09m以下、黒褐色砂泥の地山。Na 2 : -1.16m以下、褐色粘土の地山。	HR159	10
六条四坊 十町	右・西院月双町101の一部	5/9-10	-0.75m、時期不明の包含層(土師器)。	HR033	10
六条四坊十一町	右・西京極東大丸町2,3,4	7/17	巡回時、工事終了。	HR116	10
七条一坊 五町	下・朱雀北ノ口町22-6,23-5-6,24,25-1-2	10/3	-0.5m、鎌倉の包含層(土師器)。	HR201	13
七条一坊十三町	下・御前通東側、花屋町通-七条通 地内	6/15-7/19	Na 4 : -1.0m、時期不明の南北溝。Na 5 : -0.82m、時期不明の南北溝。	HR086	13
七条一坊十三町	下・西七条北東野町18-1-2	11/9	+0.11mまで現代盛土。	HR237	13
七条一坊十四町	下・西七条御前町32 七条中学校	7/28-8/22	Na 2 : -0.58m、江戸の包含層。-0.73m、平安の包含層(土師器Ⅱ、須恵器Ⅱ)。 -0.8m以下、オリープ褐色粘土の地山。Na 4 : -1.2m、平安の包含層(土師器、須恵器、灰輪陶器)。 -1.37m以下、灰褐色泥砂の地山。	HR133	13
七条四坊 八町	右・西京極神勝町70	5/10	-0.1mまで現代盛土。	HR034	12
八条二坊十二町	下・御所ノ内本町89-2-3内の一部	5/25-26	-0.34m、耕作土。	HR050	13
八条二坊十五町	下・七条御所ノ内北町62	4/10	-0.37m、耕作土。	HR006	13
八条三坊 六町	下・七条御所ノ内西町71-1 西大路小学校	7/26	-0.9m、江戸の包含層。-1.5m以下、灰色砂礫の地山。	HR131	12
九条三坊十三町	南・吉祥院新田宅ノ段町 5	12/8-11	Na 1 : -1.25m、褐色粘土の地山を切って時期不明の窪地状地積(陶器付盛土)。Na 2 : -1.2m、窪地状地積。	HR273	12

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
植物園北遺跡	北・上賀茂豊田町 3	6/7-8	-1.68mまで現代盛土。	RH066	15-5
植物園北遺跡	北・上賀茂松平町100-1他	7/17-9/5	Na 1 : -0.38m、古墳前期の包含層(土師器高杯)。 Na 2 : -0.3m以下、茶褐色砂泥の地山。 -1.35m、江戸後期の窪地状地積。	HR119	15-5
植物園北遺跡	北・上賀茂岡本町28-1	11/14	-1.35m、江戸後期の窪地状地積。	RH240	15-5
雲林院跡	北・大徳寺通、北大路通-建礼通 上・建礼通、大徳寺通-大宮通 地内	9/27-11/8	Na 1 : -0.5m、平安前期の包含層(土師器高杯)。 -1.17m以下、褐色砂泥の地山。Na 7 : -0.25m、時期不明の包含層(土師器高杯)。 Na 9 : -0.28m、平安末期の包含層(土師器、須恵器Ⅱ)。 Na 13 : -0.32m以下、灰黄褐色砂礫の地山。Na 15 : -1.2m以下、褐色砂泥の地山。Na 16 : -1.03m以下、褐色砂礫の地山。Na 17 : -0.9m以下、黄褐色砂礫の地山。	HR190	16-2
本満寺の礎石跡	上・今出川通小川東入南渡松町336 小川通今出川上る中小川町239-2他1筆	6/26,7/3	-0.4m、江戸初期の包含層(土師器Ⅱ)。 -0.9m、地山の包含層(土師器Ⅱ)。	RH096	14-2

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
本満寺の横え跡 本満寺の横え跡	上・今出川通小川東入南兼康町339	10/24~11/7	-0.3~-1.4m。江戸末期の焼土層。	RH220	14-2
	上・小川通今出川上る中小川町239-1-3	11/27~12/6	-0.44m。江戸後期の焼土層。-1.08m、江戸中期の包含層。-1.25m。江戸中期の焼土層。-1.8m以下、褐色砂礫の地山。	RH258	14-2
相国寺旧境内	上・相国寺門前町699-2の一部	4/17~20	No 1 ; -0.22 ~ -0.5m。時期不明の包含層 2 (土師器皿、平瓦)。-0.65m以下、黒褐色細砂の地山。No 2 ; -0.23m。時期不明の包含層 (土師器皿、平瓦)。-0.73m以下、黒褐色細砂の地山。No 3 ; -0.52m。時期不明の包含層 (土師器皿、軒平瓦)。	RH016	14-2
相国寺旧境内	上・今出川通丸鳥東入玄武町559	9/13~22	No 2 ; -0.35m。江戸後期の包含層。No 3 ; -1.73 m。室町後期の包含層 (土師器皿)。-1.8m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。No 4 ; -0.8m、鞍山-江戸の包含層 (土師器皿)。	RH172	14-2
北野右近将軍城跡 岩倉忠左衛門地蔵跡	上・御前通一条上東野町114	6/7-8	-0.5m。近世の包含層。	RH068	14-1
	左・岩倉忠左衛門町277-13-14-17	10/12-13-17	-1.4m以下、灰オリーブ色砂泥の地山。	RH211	15-1
半木町家跡 松ヶ崎農寺	左・下鴨西半木町地内	6/7~22	-1.6mまで現代盛土。	RH067	15-4
	左・松ヶ崎欄干18-2	11/6~8	No 1 ; -0.7m。江戸後期の包含層。No 2 ; -1.03 m以下、褐色粘土の地山。No 3 ; -0.3m。江戸後期の包含層。-0.8m以下、褐色粘土の地山。	RH235	15-2
角社瓦窯跡	北・西賀茂角社町136-2の一部	10/26	-0.3m。近世の包含層。-0.65m以下、明褐色砂泥の地山。	RH225	16-1
角社瓦窯跡	北・西賀茂角社町136-3	12/7	-0.3m以下、褐色砂礫の地山。	RH271	16-1

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
御堂ヶ池古墳群 草木町遺跡	右・梅ヶ畑向ノ地町27-1-4	7/11~11/2	-4.4mまで現代盛土。	UZ214	16-4
	右・太秦東ノ道町20-5 常盤野小学校	8/3-4-7	-1.0m。江戸末期の包含層 (陶器、泥面子)。-1.2m以下、褐色砂泥の地山。	UZ139	17
村ノ内遺跡 常盤仲之町遺跡	右・鳴滝堀ヶ酒町~常盤村ノ内町 地内	8/28~11/10	No 1 ; -0.4m以下、褐色砂礫の地山。No 2 ; -0.6 m以下、灰黄色粘土の地山。No 7 ; -0.38m。時期不明の包含層。-0.78m以下、褐色砂礫の地山。No 9 ; -0.5m。近世の包含層 (検付)。No 14 ; -0.49m。時期不明の包含層 (土師器)。	UZ151	17
			-0.87m。湿地又は流路状堆積。No 17 ; -1.3m以下、褐色砂礫の地山。No 19 ; -0.43m以下、灰オリーブ色粘土の地山。No 25 ; -0.98 ~ -1.14 m。時期不明の包含層 2。		
常盤仲之町遺跡 一ノ井遺跡	右・太秦一ノ井町26-19	5/12-15	-0.28mまで現代盛土。	UZ040	17
上ノ段町遺跡 和泉式部町遺跡	右・太秦堀ヶ内町1-1	6/5~7	-0.3mまで現代盛土。	UZ062	17
	右・花園街道、国道162号~三条通地内	8/2~12/27	巡回時、工事終了。	UZ137	17
一ノ井遺跡 東ヶ京瓦窯跡 御所ノ内町遺跡	右・太秦御所ノ内町 地内	11/7~12/6	-0.35m。時期不明の包含層。	UZ233	16-5

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
佛学院月輪寺町遺跡	左・佛学院月輪寺町	9/20	縄文後期の包含層を検出。本文22ページ。	KS149	18-2
田中横え跡	左・田中里ノ内町地	10/10~30	No 1 ; -0.39m。江戸後期の洪水層。-0.53m。江戸中期の包含層。-0.79m。江戸前期の包含層。No 4 ; -0.87m。江戸前期の包含層。No 6 ; -0.85m。時期不明の地函。	KS208	19

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
北白川鹿寺	左・北白川山田町 地先	6/26-7/4	No 1 : -0.75m以下、褐色粘土の地山。No 3 : -0.42m以下、褐色泥砂の地山。	KS097	18-1
上終町遺跡・北白川鹿寺	左・北白川山田町他	7/21-8/23	No 1 : -1.0m以下、褐色砂礫の地山。	KS124	18-1
京都大学西部構内遺跡	左・吉田泉殿町 地先	4/20-5/10	-1.1mまで現代盛土。	KS022	19
京都大学構内弥生遺跡	左・吉田近衛町26-53 近衛中学校	4/19	-0.4mまで現代盛土。	KS020	19
白河街区跡	左・新藤町通仁王門下和国町373-1	5/8-9	-1.27m、中世の包含層(瓦器)、-1.47m、平安後期-鎌倉の地状堆積(土師器皿、瓦)。	KS030	19
岡崎遺跡・白河街区跡	左・岡崎円勝寺町149の一部	4/19.5/10	+0.15mまで現代盛土。	KS021	19
岡崎遺跡・白河街区跡	左・岡崎入江町-岡崎北御所町他 地内	6/13-8/11	No 3 : -0.78m、褐色粗砂の地山を切って時期不明の落込。No 4 : -0.63m以下、褐色粗砂の地山。No 5 : -1.0m以下、黄褐色粗砂の地山。No 6 : -0.35-0.5m、時期不明の整地層2、-0.68m以下、いよいよ黄褐色粗砂の地山。	KS084	19
岡崎遺跡・白川街区跡	左・岡崎円勝寺町2-4	8/2-4	No 1 : -0.85m、平安後期の包含層(土師器皿、黒輪陶器)。-1.1m、時期不明の包含層(土師器)。-1.4m以下、黄褐色粘土の地山。No 2 : -0.67m、古墳前期の包含層(土師器壺・壺)。-1.15m以下、灰色粘土の地山。	KS138	19
岡崎遺跡・白河街区跡	左・岡崎円勝寺町91-66-67	12/19-22-26	No 1 : -1.0m、鎌倉前期の包含層(土師器皿、平瓦)。-1.22m、平安末期の包含層(土師器皿)。No 2 : -0.65m、時期不明の包含層。-0.92m、室町後期の包含層(土師器、瓦)。-0.99m、鎌倉中期の包含層(土師器、瓦)。-1.13m、平安末期の包含層(土師器皿、瓦)。No 3 : -1.06m、室町前期の包含層(土師器皿、瓦)。-1.3m、平安末期の包含層(土師器皿、丸瓦)。	KS283	19
岡崎遺跡・得長寺院跡	左・岡崎徳成町 1	6/12-7/27	-0.5m以下、暗灰黄色粗砂の地山。	KS075	19
岡崎遺跡・法勝寺跡	左・岡崎通、九太町通-冷泉通 地内	6/13-7/12	No 1 : -0.23m、時期不明の包含層(土師器)。	KS083	19
白河南殿跡	左・興川通新開ノ町石原町281-4	5/30-6/7	-0.83m以下、いよいよ黄褐色粗砂の地山。No 6 : -1.23m、室町の包含層(土師器)。No 8 : -0.9m以下、褐色粗砂の地山。	KS053	19
			No 1 : -1.0m、平安末期-鎌倉の包含層(土師器皿)。-1.25-1.33m、平安後期の包含層2(土師器皿、黒色土師器)。No 2 : -1.0m、時期不明の包含層(土師器、白磁)。-1.2m、平安後期の包含層(土師器皿)。		

南・桂地区(MK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
中久世遺跡	南・久世殿地町207-2	6/8-12	-0.25mまで現代盛土。	MK070	27-1
中久世遺跡	南・久世中久世町二丁目105	9/13	-0.07mまで現代盛土。	MK175	27-1
中久世遺跡	南・久世殿地町479-1、久世大原町591-2、162-2	12/12-15	-0.4m、時期不明の落込。	MK277	27-1
中久世遺跡・大蔵遺跡	南・久世殿地町481-1 久世中学校	7/25, 11/1	巡回時、工事終了。	MK129	27-1
福西古墳群	西・大枝中山町7-60-189	6/13-14	+0.45m以下、褐色砂礫の地山。	MK082	18-3
福西古墳群	西・大枝東長町1-464	9/19	-1.6mまで現代盛土。	MK183	18-3
櫻原鹿寺	西・櫻原内堀外町25-16	6/27-7/4	巡回時、工事終了。	MK102	18-5
灰方古墳群	西・大原野沢方町	8/24-28	-0.9m以下、褐色粘土の地山。	MK148	26-1
上里北ノ町遺跡	西・大原野上里南ノ町38-2, 39	11/16-22	-2.32m以下、黄褐色シルトの地山。	MK243	26-2

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
法興院跡	中・河原町通二条上る清水町341-8	6/12	-0.15mまで現代盛土。	RT077	18-4
六波羅政庁跡	東・五条通北側、五条橋東四丁目～五条橋東六丁目 地内	5/29～7/6	-0.9m以下、黄褐色粘土の地山。	RT054	20
法住寺殿跡・六波羅政庁跡	東・本町通、五条通～七条通 地内	7/6～10/18	No 2 : -0.68m以下、灰オリーブ色細砂の地山。 No14 : -0.3m、江戸末期の包含層、-0.4m以下、オリーブ褐色砂礫の地山、No19 : -0.9m、時期不明の路面。	RT109	20
法住寺殿跡	東・泉涌寺門前町21-10-22	9/5・6	-1.9mまで現代盛土。	RT160	20
法性寺跡	東・本町十五丁目778	9/25・26	時期不明の石垣。	RT188	20
山科本願寺跡	山・西野広見町～山階町 地先	5/29～6/12	-0.43m、室町の土壌(土師器土、陶器焼片、平瓦)。	RT055	23-1
中區遺跡	山・御辻番所ヶ口町34-3、35-3の一部	4/7	-0.77mまで現代盛土。	RT003	23-2
中區遺跡	山・御辻番所ヶ口町34-3、35-3の一部	4/12・18	-1.2mで黒褐色砂泥を抽出。	RT012	23-2
中區遺跡	山・西野山中區町26-77-131	4/27・28	+0.07mで暗褐色砂泥を抽出。	RT027	23-2
中區遺跡	山・勤修寺東薬師町17-6・7・8	5/8・15	-0.7mまで現代盛土。	RT031	23-2
中區遺跡	山・御辻番所ヶ口町34-3、35-3の一部	5/12	-1.04m、耕作土。	RT039	23-2
中區遺跡	山・御辻番所ヶ口町34-3、35-3の一部	6/5	-0.35mまで現代盛土。	RT063	23-2
中區遺跡	山・西野山中區町72-88	6/9	-0.25mまで現代盛土。	RT072	23-2
中區遺跡	山・御辻番所ヶ口町35-7	7/17	-0.27mまで現代盛土。	RT118	23-2
中區遺跡	山・西野通西側、新十条通～勤修寺公園北側 地内	8/1～11/21	整穴住居のカマドを抽出。本文21ページ。	RT336	23-2
中區遺跡	山・西野山中區町194-1	10/11	-0.3m、耕作土。	RT210	23-2
中區遺跡	山・勤修寺東金ヶ崎37	11/6	-1.84m、時期不明の包含層(土師器壁)。	RT236	23-2
中區遺跡	山・勤修寺西金ヶ崎324	12/1	-0.75mまで現代盛土。	RT262	23-2
中區遺跡	山・黒橋野筆ノ木町1-7 西野山中區町26-4の一部	12/8・11-12	-0.57m、褐色砂泥の地山を切って時期不明の高込。	RT274	23-2
中區遺跡	山・勤修寺西薬師町44-7	12/12	-0.2mまで現代盛土。	RT276	23-2
中區遺跡	山・西野山中區町26-11	10/24	-0.4mまで現代盛土。	RT221	23-2
中區十三塚					

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
西飯食町遺跡	伏・深草飯食町838-5	9/13～21	-1.13m、近世の包含層、-1.3m以下、オリーブ灰色細砂の地山。	TB174	21
鳥羽殿宮跡	伏・竹田浄菩提院町76-2	7/24	-0.26mまで現代盛土。	TB126	22
鳥羽殿宮跡	伏・竹田浄菩提院町75-3、76-1	7/24～11/1	巡回時、工事終了。	TB127	22
鳥羽殿宮跡	伏・中島中道町109、110、111	9/26	-0.4m以下、よこし黄褐色細砂の地山。	TB189	22
鳥羽殿宮跡	伏・竹田小原ノ内町105	10/3～10	-0.54mまで現代盛土。	TB202	22
鳥羽遺跡	伏・竹田内畑町53	9/27～10/5	No 1 : -1.6m、平安後期の南北溝(土師器壁、瓦)、No 2～4 : -1.4mで泥地状堆積。	TB171	22
鳥羽遺跡	伏・竹田真確木町 地先	12/14	-1.0mで灰色粘土を抽出。	TB281	22
鳥羽遺跡	伏・竹田西内畑町 地先	11/27～12/21	No 3 : -0.45m、江戸末期の包含層、-1.04m、江戸後期の包含層、共に地状堆積、No 6 : -1.24m以下、黄灰色粘土の地山、No 7 : -1.28m以下、黄灰色粘土の地山、No 8 : -1.08m以下、灰色粘土の地山、No 9 : -1.25m以下、泥地状堆積、No13 : -0.8m以下、泥地状堆積、No14 : -1.0m以下、黄灰色微砂の地山、No15 : -1.22m以下、泥地状堆積。	TB249	22
下鳥羽遺跡	伏・下鳥羽長田町40、41、48-2、54-4、55、55-2、56、56-2、61-3、66、71-4(B)	6/12～7/17	-1.92m以下、オリーブ褐色粘土の地山。	TB076	23-3
芥川城跡	伏・久我東町跡川町 地先	6/26、7/5	No 1 : -1.24m以下、暗灰色粘土の地山、No 2 : -1.0m以下、暗オリーブ色細砂の地山。	TB099	28

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
春神山古墳・ 深草坊町遺跡・ 飯来寺跡・ 貞観寺跡・ 高持寺跡・ 法性寺跡	伏・深草野手町地	6/6~10/26	深草坊町遺跡で礎石列を確認。深草法華堂の一部と思われる。	FD069	20-21
飯来寺跡	伏・深草野手町29,31-1-2,32	9/14・18・19	-1.0~-1.45m、雑土の包含層2(土師器皿、陶器蓋、白磁、瓦)。	FD170	21
深草寺跡	伏・深草田谷町3	7/3・5・6	-0.8m以下、灰褐色砂礫の地山。	FD108	21
深草坊町遺跡・ 深草寺跡	伏・深草田谷町73	10/2~6	No 1 : +0.37m以下、灰褐色粗砂の地山。No 2 : +0.45~-0.15m、室町の包含層3(土師器皿)。No 3 : +0.15m以下、暗褐色砂礫の地山。No 4 : -0.58m以下、明褐色粗砂の地山。	FD200	21
伏見城跡	伏・桃山町和泉地	4/12	巡回時、工事終了。	FD007	24-25
伏見城跡	伏・桃山町道山103	4/13-14	-0.76m以下、にぶい黄褐色砂泥を抽出。	FD009	25
伏見城跡	伏・南都町77,79	4/17~5/18	-2.0m以下、近世の湿地。	FD015	24
伏見城跡	伏・桃山登土町59他	5/12	-1.74m以下、橙色粗砂の地山。	FD041	24
伏見城跡	伏・瀬戸物町718	5/18~25	No 1 : -0.18m、江戸の土壌(土師器皿、染付碗、白磁碗、陶器器鉢、瓦)。-0.83m以下、暗褐色砂泥の地山。No 2 : -1.1m、江戸の土壌(陶器器鉢・器鉢、瓦)。No 3 : -0.27m、時期不明の包含層(土師器皿)。-0.35m、時期不明の土壌。No 4 : -0.23m、時期不明の包含層(土師器皿、黒色土器)。-0.36m、室町の包含層(土師器皿)。No 5 : -1.67m、江戸の井戸(土師器、土師器蓋、陶器蓋、軒丸瓦)。No 6 : -0.77m、時期不明の包含層(瓦)。	FD044	24
伏見城跡	伏・桃山町本多上野23-6	5/29	-0.2mまで現代盛土。	FD057	25
伏見城跡	伏・大阪町605	6/13~26	No 1 : -0.1~-1.15mまで近世の包含層。-1.3m、雑地層。No 2 : -1.45m、近世の包含層。-1.95m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。	FD081	24
伏見城跡	伏・深草大亀谷六林町28-11	6/26-27	+0.17mで褐色泥砂を抽出。	FD098	25
伏見城跡	伏・桃山本多上野町107 桃山小学校	7/26, 8/7	-0.7mまで現代盛土。	FD132	25
伏見城跡	伏・桃山町丹下14	8/29~9/4	-0.85mまで現代盛土。	FD152	24
伏見城跡	伏・深草大亀谷万帖敷町 地先	9/21~10/10	No 1 : -0.59m以下、オリーブ色粗砂の地山。No 6 : -0.3m以下、褐色粘土の地山。No 7 : -0.4m以下、灰黄色粗砂の地山。No 8 : -0.35m以下、灰白色砂礫の地山。	FD185	25
伏見城跡	伏・墨染町709	10/26~12/27	No 1 : -0.79m以下、にぶい黄褐色細砂の地山。No 2 : -0.16m、江戸末期の包含層。-0.87m以下、褐色砂礫の地山。No 3 : -0.28m、江戸末期の包含層。-0.65m以下、褐色細砂の地山。	FD227	24
伏見城跡	伏・桃山毛利長門西町48	12/12-13	-0.72mまで現代盛土。	FD278	24
桃山古墳群・ 伏見城跡	伏・桃山町永井久太郎官有地	11/15-27	-0.6mまで現代盛土。	FD242	24

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
左京一条三坊十二町・ 東土川遺跡	南・久世東土川町	10/30,12/27	-1.1m, 灰オリープ色粘土の地山。	NG230	28
左京一条四坊三町	南・久世東土川町280の一部,281の一部	5/23・24	-0.91m, 耕作土。	NG047	28
左京一条四坊十六町・ 東京極大路	伏・久我石原町7-18	4/14-5/1	No 2 : -0.85m, 時期不明の落込。No 4 : -1.2 m, 時期不明の南北溝2。	NG011	28
左京三条三坊十四町	伏・久我西出町10-11	10/26-30	-0.88mまで現代盛土。	NG224	28
左京西条四坊二町	伏・羽東師養川町663-1他	9/28-10/13	-1.35m, 弥生の包含層 (弥生土器層)。-1.5m以下, 灰色粘土の地山。平成12年度京都市内遺跡試掘調査概報に報告。	NG195	28
左京四条四坊二町	伏・羽東師養川町 地内	12/21	-0.9m, 湿地状堆積。	NG286	28
左京西条四坊十五町	伏・久我東町8-29の一部,8-56の一部	10/25-11/8	-0.11m, 灰黄褐色粘土を抽出。	NG223	28
左京六条四坊四町	伏・淀橋爪町 地先	6/16-8/4	No 2 : -0.77m以下, オリープ褐色粘土の地山。 No 3 : -0.85m以下, オリープ黒色+オリープ褐色砂泥の地山。	NG088	27-3
左京六条西坊四町・ 六条大路	伏・淀橋爪町108-3	4/20	-0.7mまで現代盛土。	NG023	27-3
左京九条西坊四町跡地	伏・流池上町100,100-1の一部,203-4	4/17・18	-1.45m, 江戸の包含層 (炭粉, 鉄釘)。	NG017	27-2

報告書抄録

ふりがな	きょうとしなにいせきたちあいらゆるきがいほう							
書名	京都市内遺跡立会調査概報 平成12年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編者名	内田好昭、大槻明義、近藤孝子、菅田謙、市川豊治、堀内寛昭、モンベティ恭代、吉村正規、吉本健吾、電子正彦							
編集機関	財団法人京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入北伊佐町265-1 TEL075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL075-222-3108							
発行年月日	西暦2001年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
平安京跡 北辺四坊七町、 一条西坊十六町	京都府京都市上京区 京都御苑	26100		35度1分13秒	135度46分10秒	2000.10.31～ 11.3		インフラ整備
平安京跡 左京二条 二坊十一町	京都府京都市中京区 興川通榎川東入興川 町	26100		35度0分42秒	135度45分22秒	2000.6.12～ 6.27		マンション
平安京跡 左京二条 四坊五町	京都府京都市中京区 柳高場通二条上る 六丁目	26100		35度0分39秒	135度45分59秒	2000.6.22～ 7.4		マンション
平安京跡 左京六条 一坊二町	京都府京都市中京区 中堂寺坊地町	26100		34度59分39秒	135度44分50秒	2000.8.22～ 8.23		耐震性貯水槽
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
平安京跡 北辺四坊七町、 一条西坊十六町	都城	平安～江戸	池・石組溝	土器類				
平安京跡 左京二条 二坊十一町	都城	弥生～平安	溝	土器類・石製品				
平安京跡 左京二条 四坊五町	都城	弥生～平安	掘穴住居・溝	土器類				
平安京跡 左京六条 一坊二町	都城	鎌倉	溝	土器類				

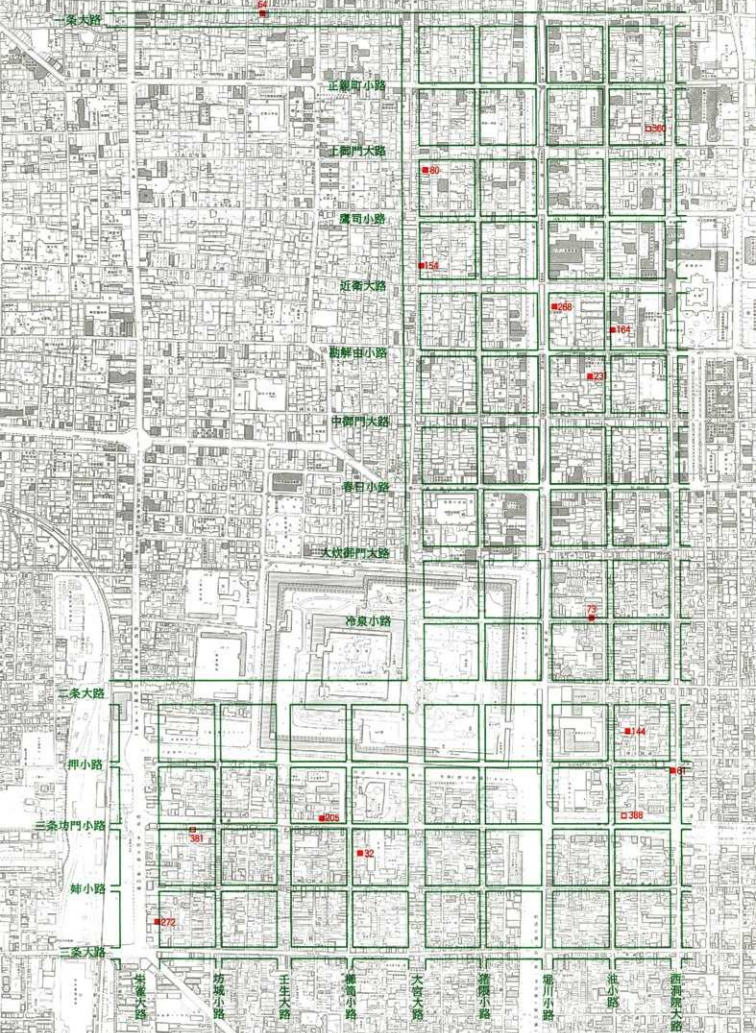
ふりがな	きょうとしなにいせきたらあいちょうさがいほう							
書名	京都市内遺跡立会調査概報 平成12年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	内田好昭、大槻明義、近藤幸子、菅田康、布川豊治、堀内克昭、モンベティ恭代、吉村正純、吉本健吾、電子正彦							
編集機関	財団法人京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL075-222-3108							
発行年月日	西暦2001年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
平安京跡 左京六条 三坊六町	京都市下京区 西海通新町東入上 御町	26100		34度59分34秒	135度45分37秒	1999.12.10～ 2000.2.15		マンション
平安京跡左京七 条四坊三町、東 本願寺前古基群	京都市下京区 西海通東御院東入 廿八通町	26100		34度59分18秒	135度45分50秒	2000.1.7～ 1.14		事務所兼倉庫
平安京跡 右京三条 二坊十二町	京都市中京区 西ノ京新堀町	26100		35度0分24秒	135度46分7秒	2000.6.1～ 6.8		保育所
平安京跡 右京四条 三坊四町	京都市中京区 西院黄町	26100		35度0分2秒	135度43分53秒	2000.2.23～ 2.29		事務所
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
平安京跡 左京六条 三坊六町	都城	江戸	井戸	土器類・墨書木製品				
平安京跡左京七 条四坊三町、東 本願寺前古基群	都城	平安	路面	土器類				
平安京跡 右京三条 二坊十二町	都城	平安	溝	土器類				
平安京跡 右京四条 三坊四町	都城	平安～江戸	路面	土器類				

ふりがな	きょうとしなにいせきたちあいらうきがいはう							
書名	京都市内遺跡立会調査概報 平成12年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	内田好昭、大槻明義、近藤幸子、菅田薫、布川豊治、堀内寛昭、モンベティ恭代、吉村正親、吉本健吾、電子正彦							
編集機関	働京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL075-222-3108							
発行年月日	西暦2001年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
平安京跡右京九条一坊十四町、西寺跡	京都市南区鶴岡西寺町	26100		34度58分40秒	135度44分23秒	2000.3.15～ 3.24		倉庫
法金剛院境内	京都市右京区花園扇町	26100		35度0分52秒	135度43分10秒	2000.1.21～ 1.28		事務所
修学院月輪寺町遺跡	京都市左京区修学院月輪寺町	26100		35度2分49秒	135度48分11秒	2000.9.20		活断層調査
中區遺跡	山科区勤修寺東薬師町	26100		34度58分0秒	135度48分41秒	2000.8.1～ 11.21		水道管布設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
平安京跡右京九条一坊十四町、西寺跡	都城	平安	溝・井戸		土器類・瓦類			
法金剛院境内	寺院跡	平安	礎物地蔵・築山地蔵		土器類			
修学院月輪寺町遺跡	散布地	縄文	包含層		土器類			
中區遺跡	集落	古墳	竪穴住居		土器類			

圖 面

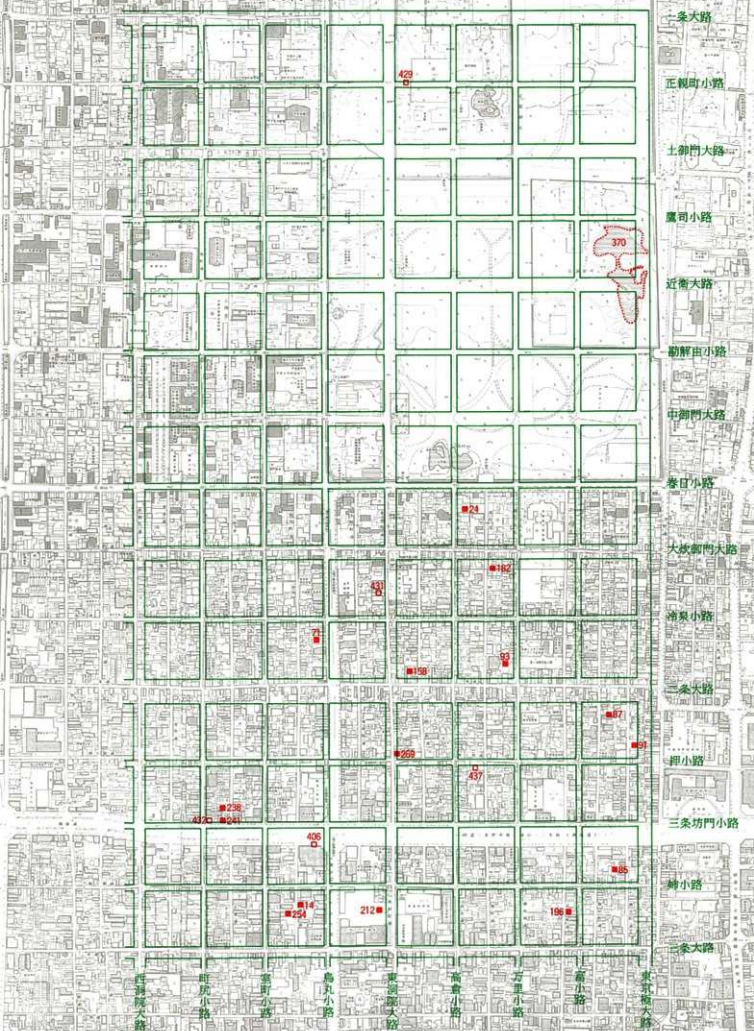
凡 例

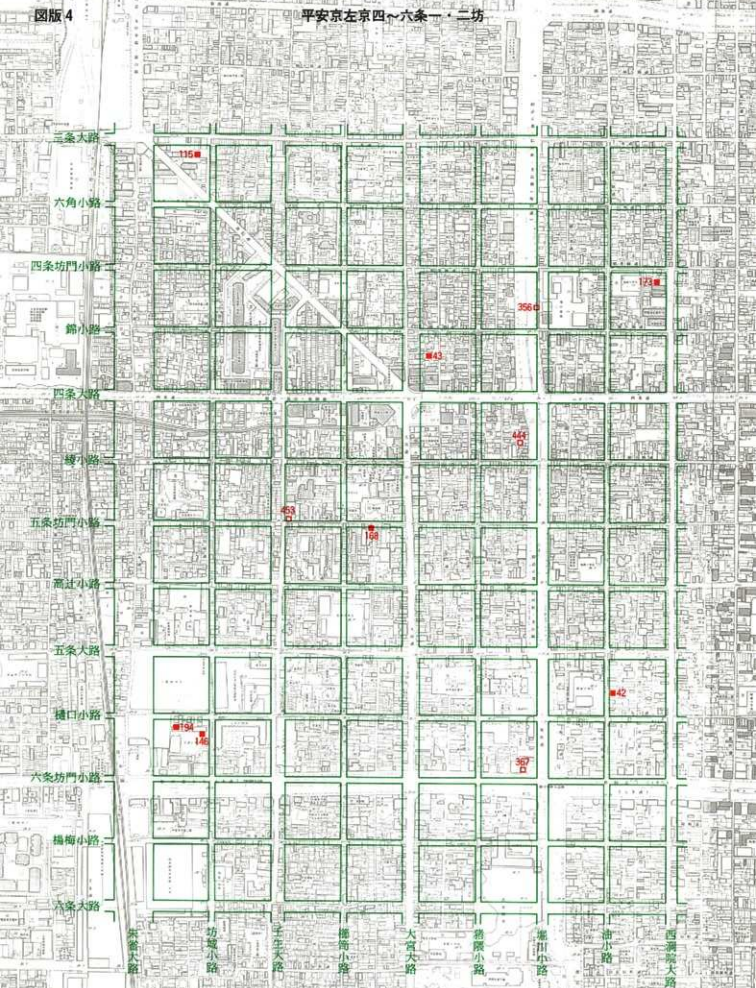
- 1999年 立会調査地点
- 2000年1～3月期（平成11年度）立会調査地点
- —— 2000年4～12月期（平成12年度）立会調査地点

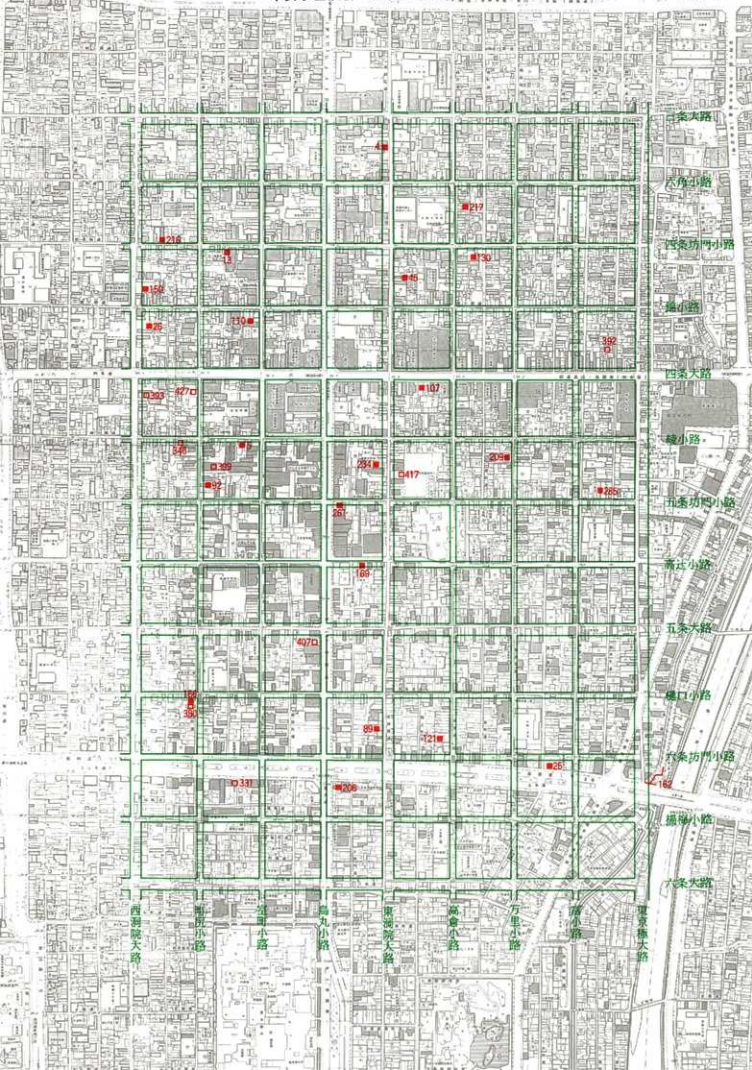


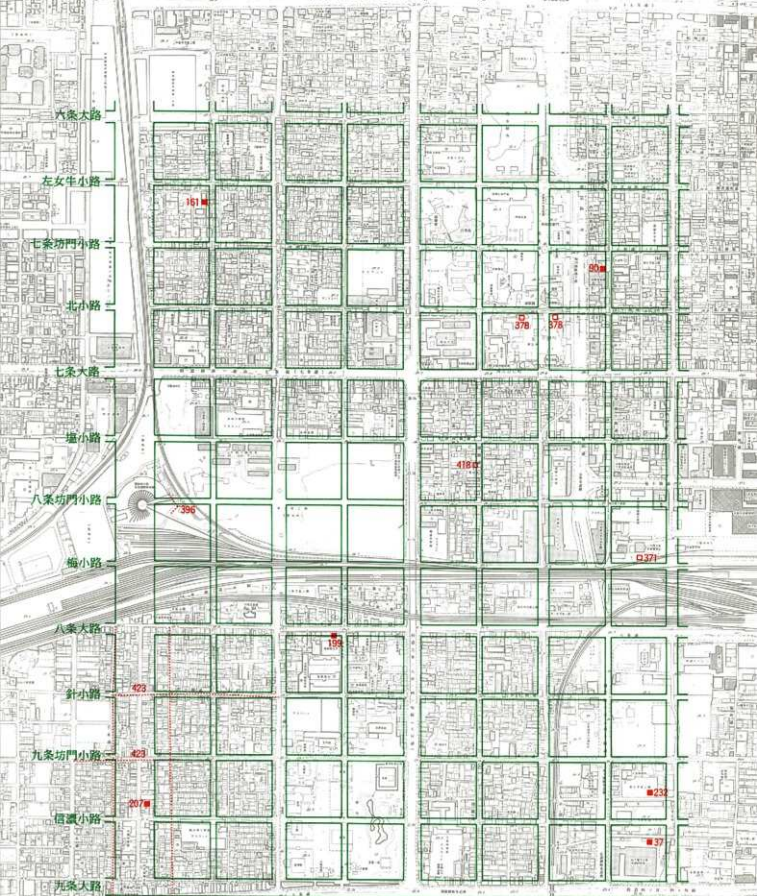
平安京左京北辺～三条三・四坊

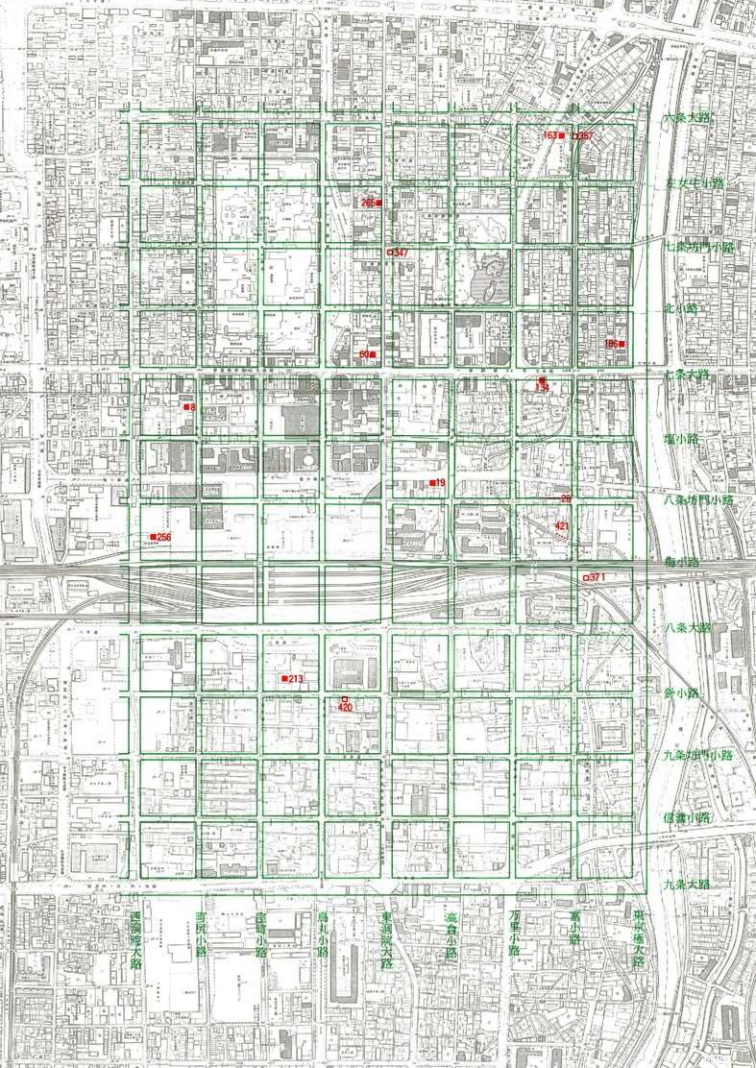
図版 3

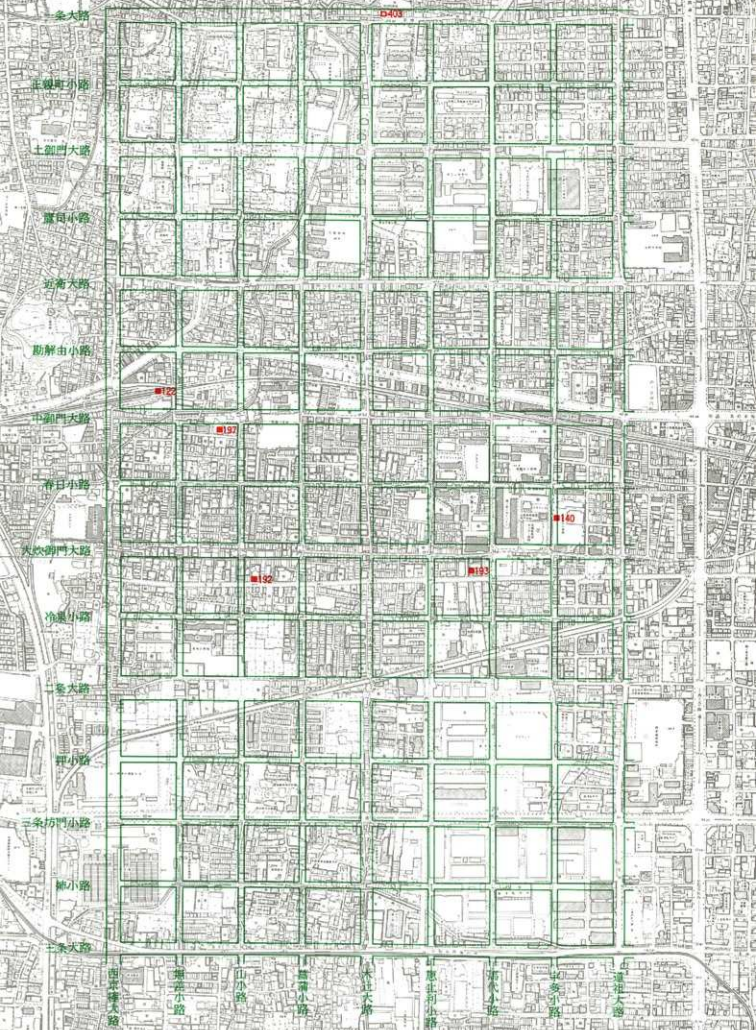


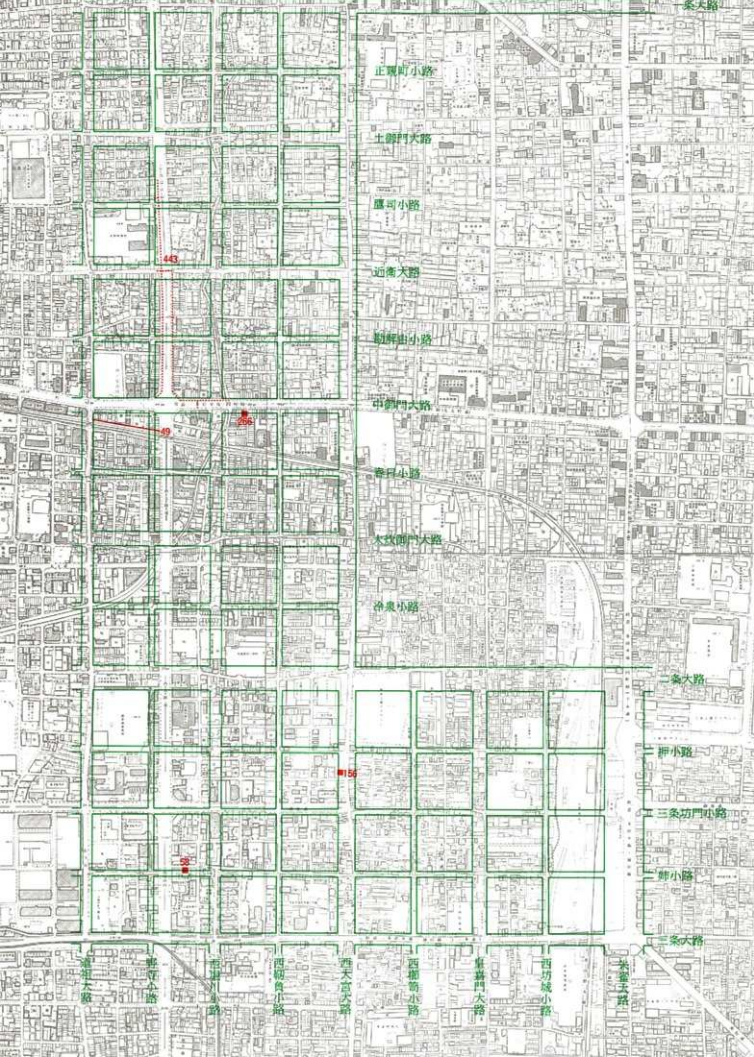












正親町小路

土御門大路

鷹司小路

近衛大路

別当小路

中御門大路

春日小路

木宮御門大路

冷泉小路

三条大路

神小路

三条坊門小路

野小路

三条小路

喜守小路
通堀大路

平野小路

西朝負小路

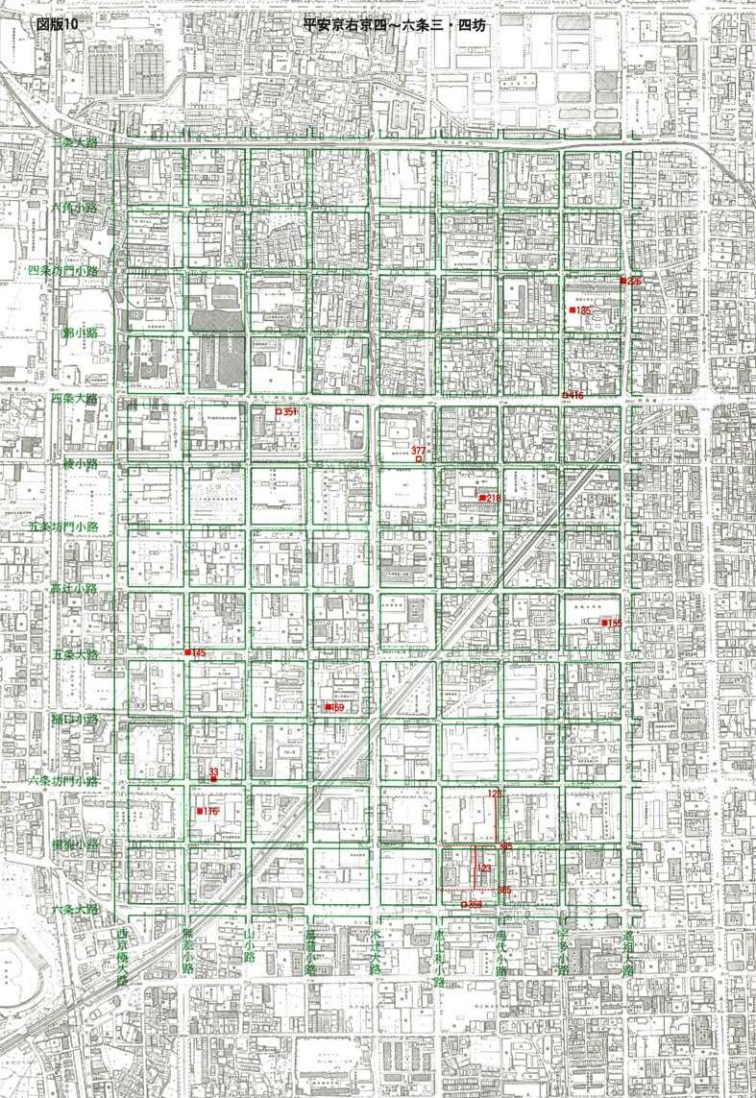
西大宮大路

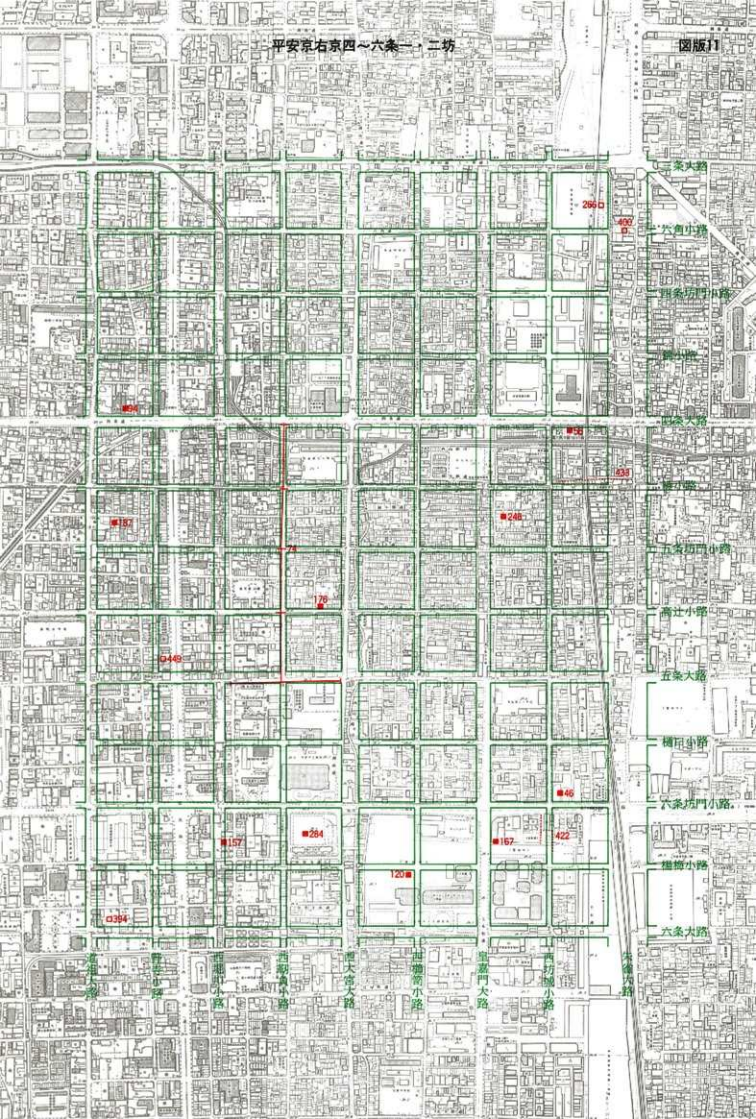
西堀橋小路

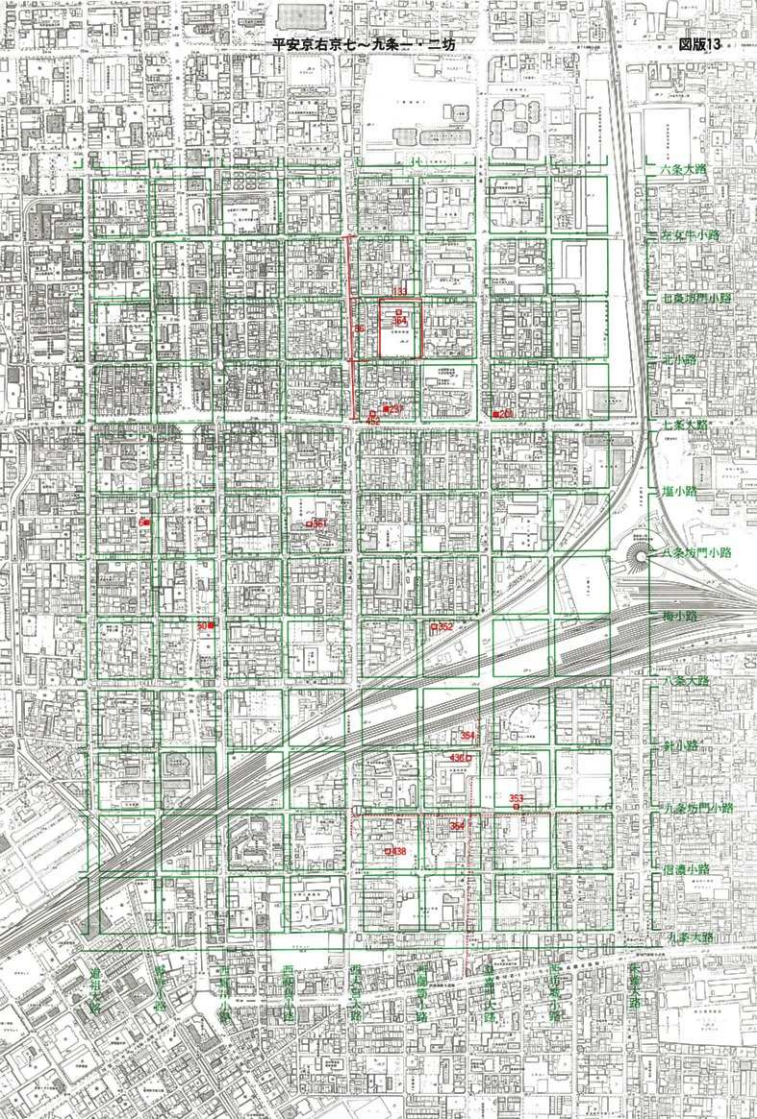
東御門大路

西坊城小路

茶室小路







六条大路

左京牛小路

右京坊門小路

七条小路

七条大路

堀小路

八条坊門小路

堀小路

八条大路

針小路

左京坊門小路

堀小路

九条大路

堀小路

堀小路

堀小路

堀小路

堀小路

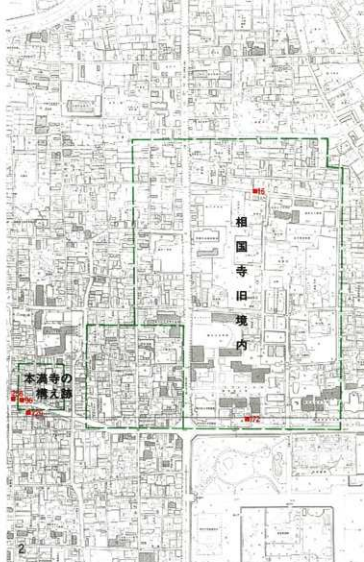
堀小路

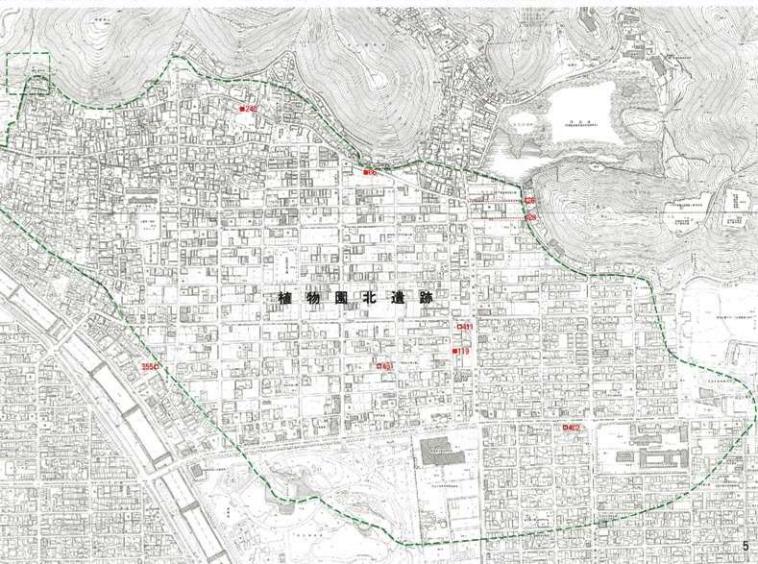
堀小路

堀小路

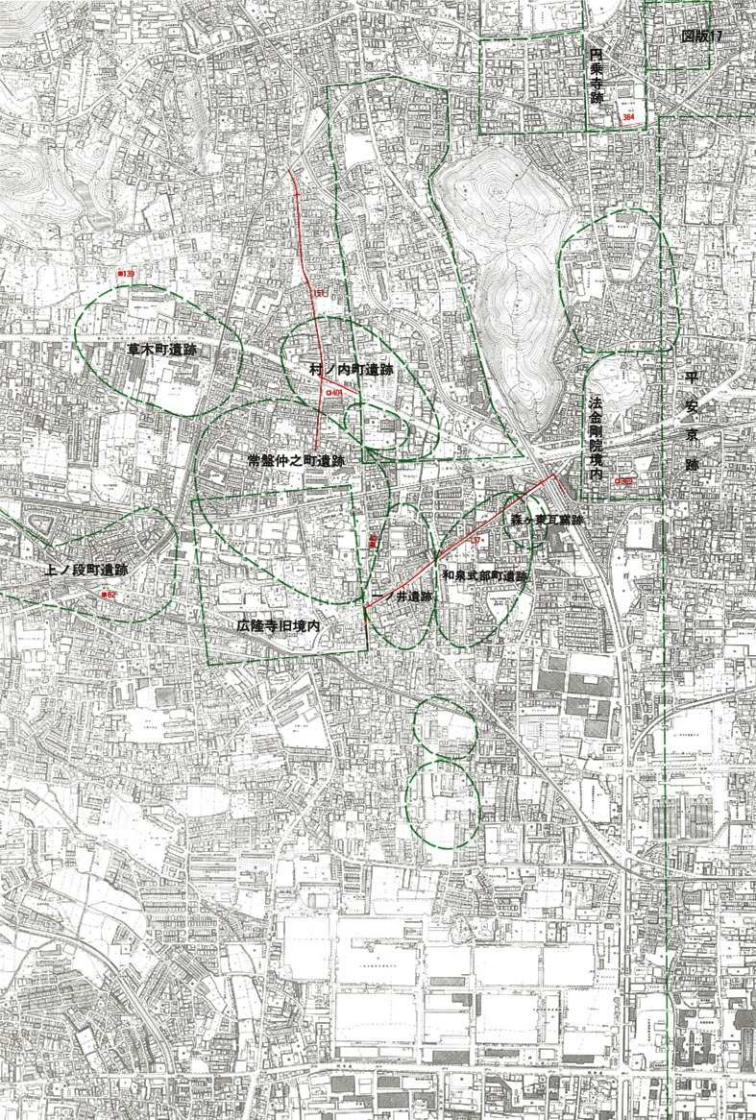
堀小路

図版14









四葉寺跡

304

0139

章木町遺跡

1515

村ノ内町遺跡

0404

常盤仲之町遺跡

法金剛院境内

平安京跡

0300

上ノ段町遺跡

0422

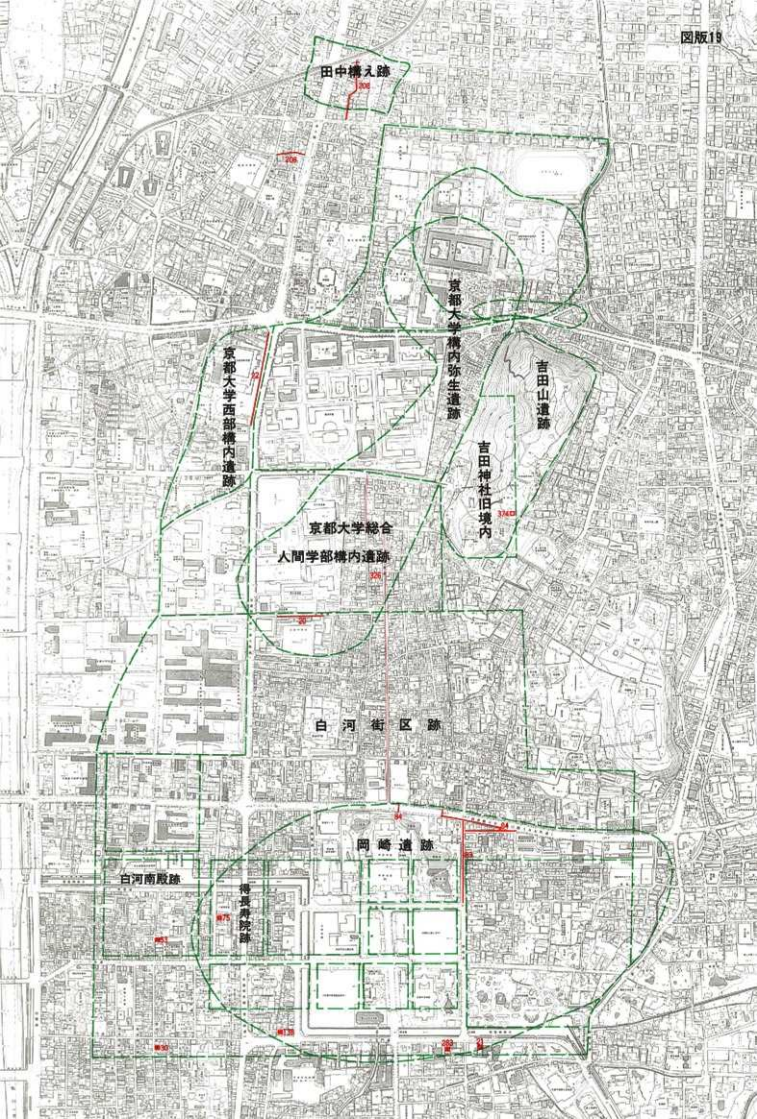
森ノ夏耳宮跡

017

和泉式部町遺跡

井遺跡

広隆寺旧境内



田中構入跡

京都大学構内弥生遺跡

吉田山遺跡

京都大学西部構内遺跡

吉田神社旧境内

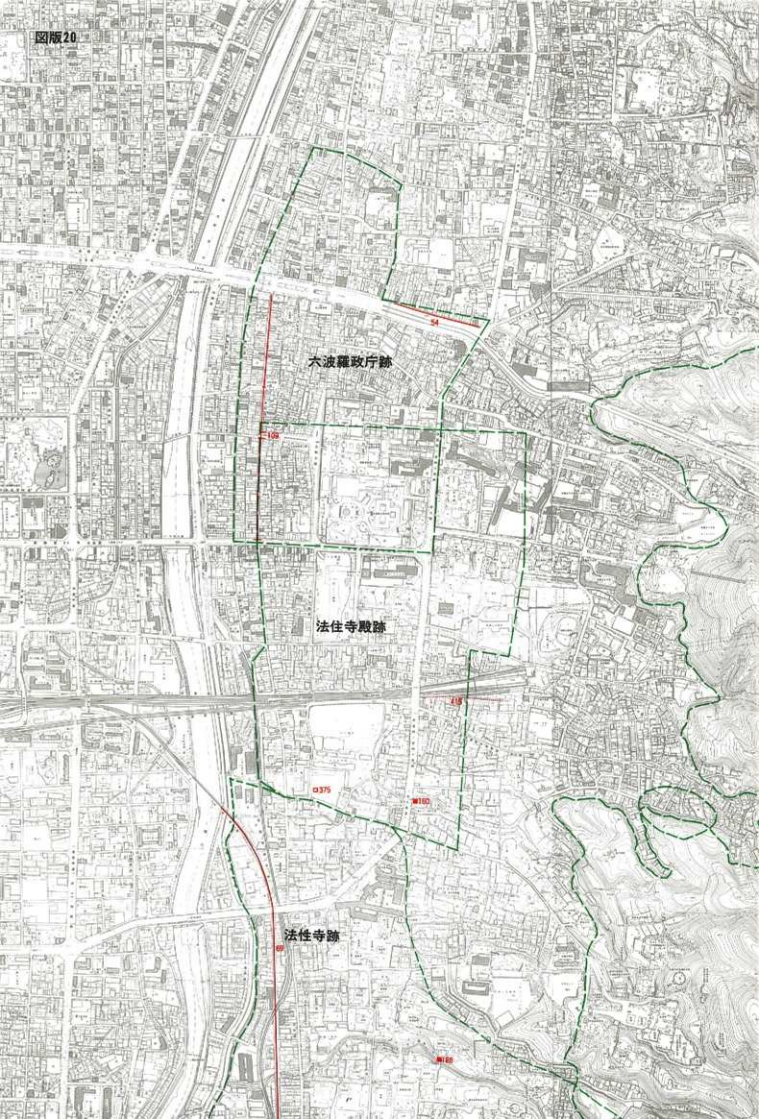
京都大学総合
人間学部構内遺跡

白河街区跡

岡崎遺跡

白河南殿跡

博長寺院跡



大波羅政庁跡

法住寺殿跡

法性寺跡

法性寺跡

極楽寺跡

善神山古墳

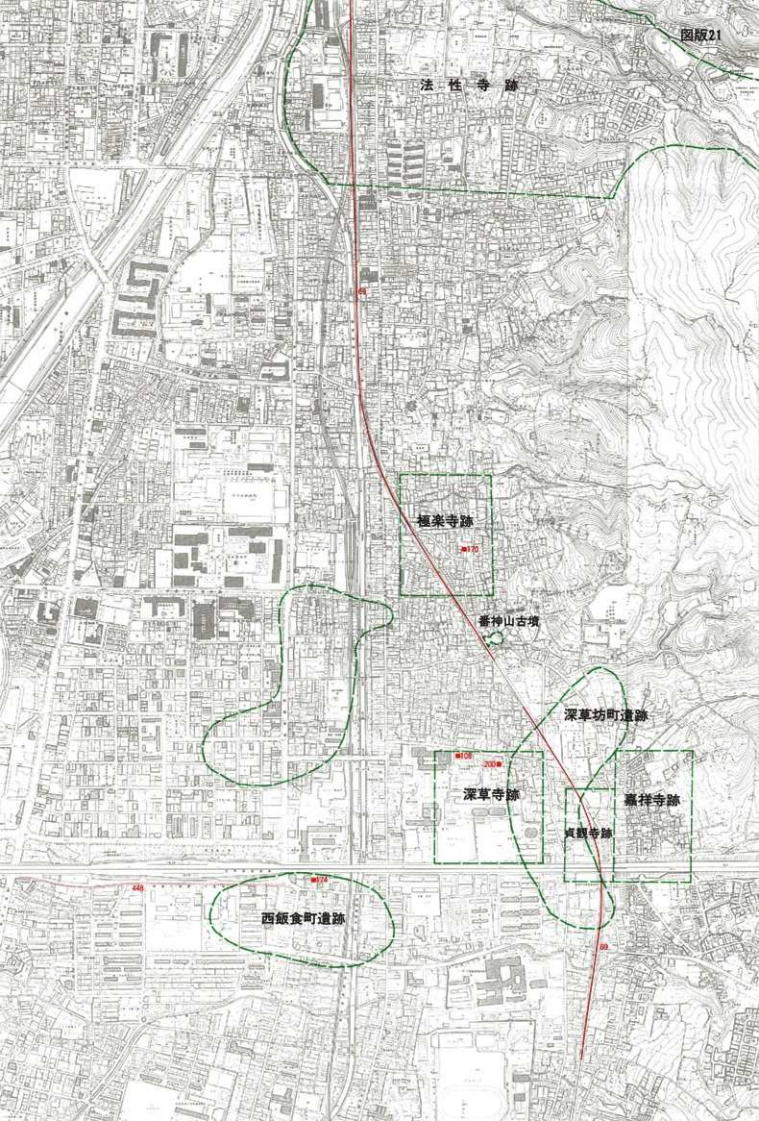
深草坊町遺跡

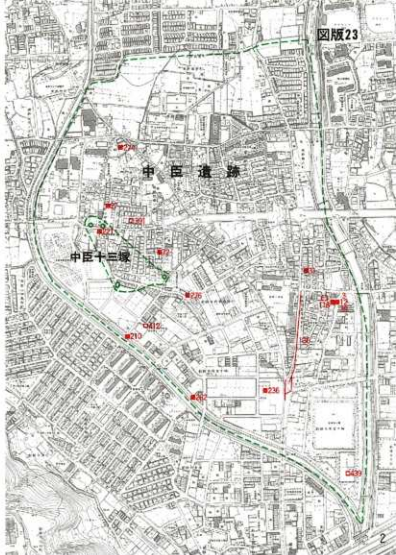
深草寺跡

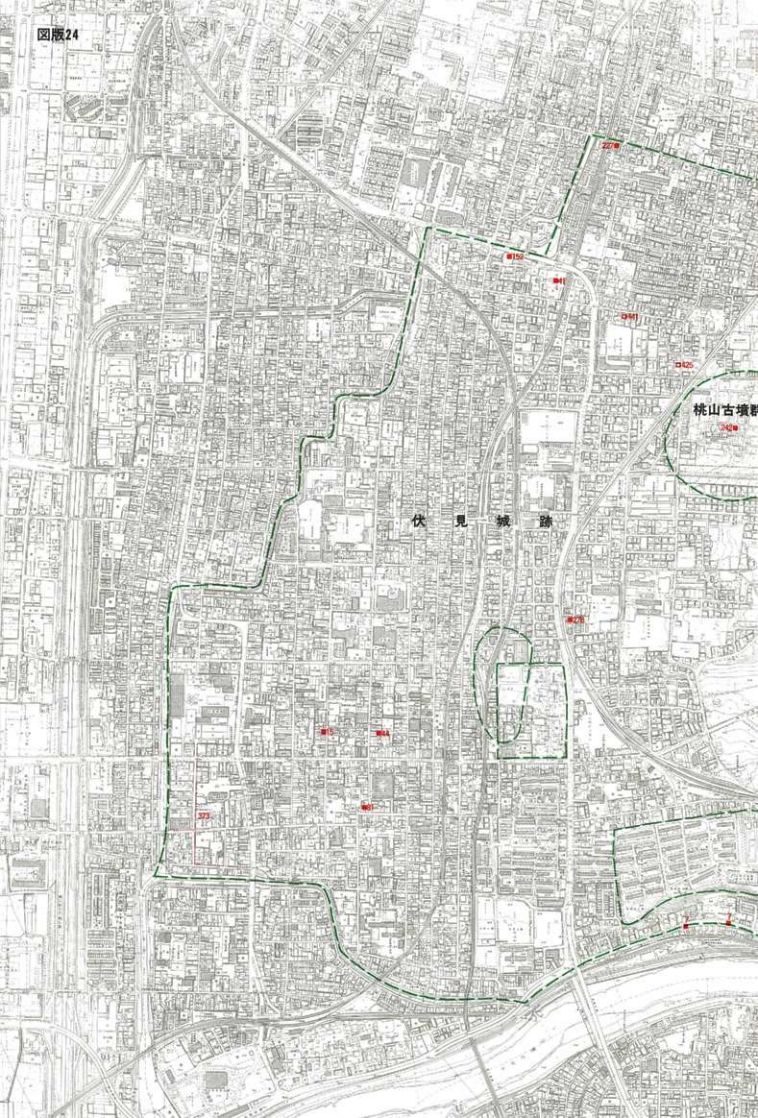
嘉祥寺跡

貞観寺跡

西飯食町遺跡







伏見城跡

桃山古墳群

373

364

361

359

341

340

339

327

326

324



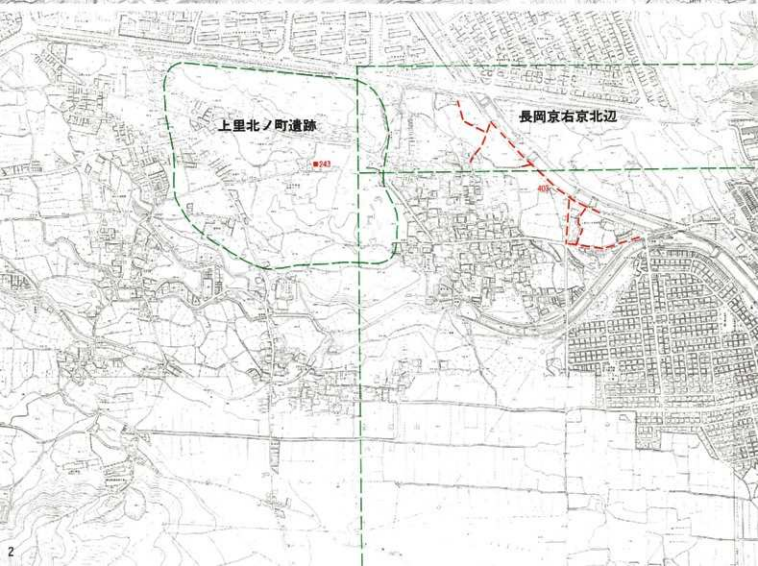
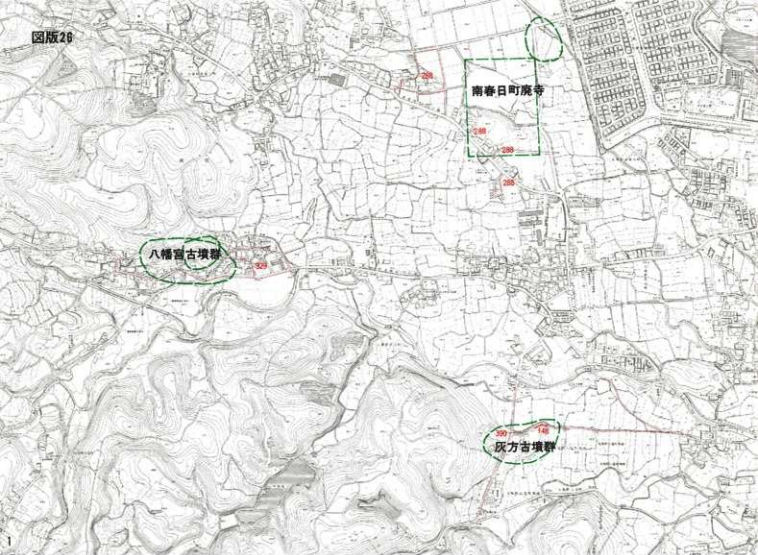
伏見城跡

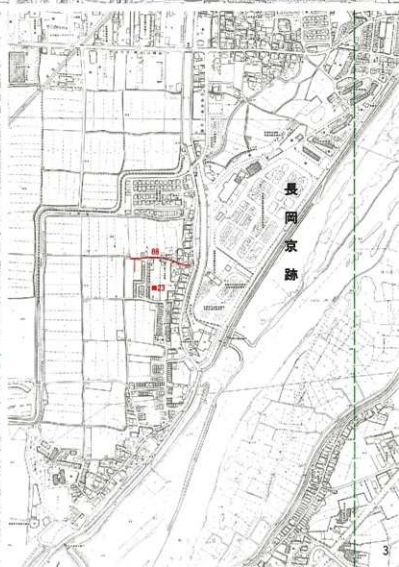
75

76

76

76







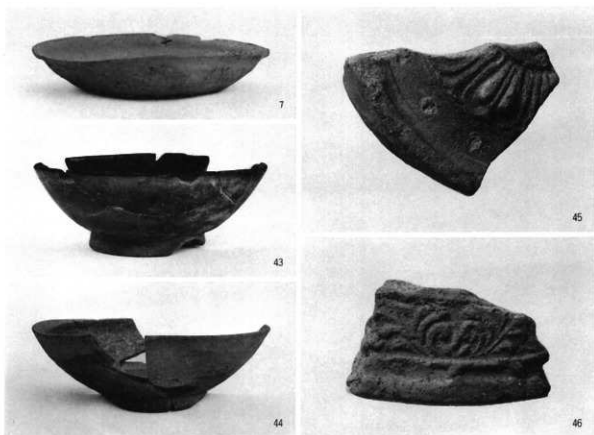
長岡京跡

久我東町遺跡

真 写



調査地全景 (北東から)



出土遺物



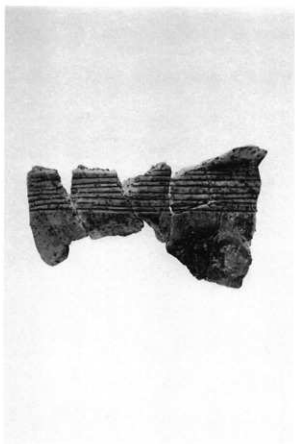
調査地全景 (北から)



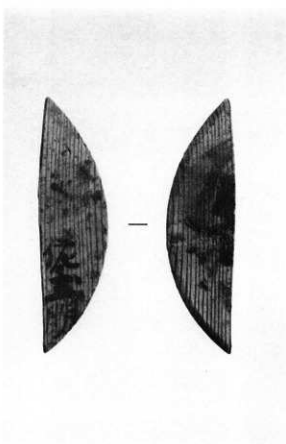
築山断面 (南西から)



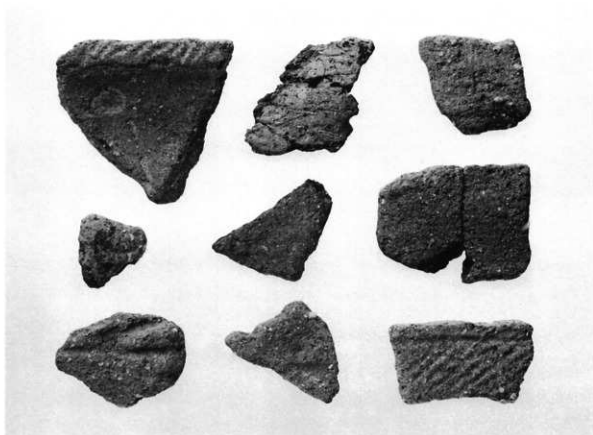
建物地業断面 (南東から)



弥生土器 (00HL73)



木筒 (99HL331)



縄文土器 (00KS149)

平安京左京二条二坊十一町 (00HL73) 平安京左京六条三坊六町 (99HL331)



A



B



C



D



E



F

京都市内遺跡立会調査概報

平成12年度

発行日 2001年3月31日
発行 京都市文化市民局
住所 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
編集 御京都市遺跡文化財研究所
住所 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1
TEL (075) 415-0521
印刷 真 陽 社